# AXIS 5600+ & AXIS 5400+ ユーザーズマニュアル

2003年3月発行 第1版

## 安全のために

本製品を安全にご利用頂くために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告!** データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。

**重要:** 操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。

★警告 この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人 身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、 **注意** データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

## 異常時の処理について

## ▲警告

万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて 販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となりま す。

万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、 故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が 出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は 危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、 故障の原因となります。

電源コードが痛んだら( 芯線の露出、断線など )販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 取り扱いについて

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火 ★警告
災、感電、故障の原因となります。

> 本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容 器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火 災、感電、故障の原因となります。

> 弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障 の原因となります。

> 弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部 に触れると火傷、感電、故障の原因となります。

> ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となりま す。

移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部 ★ 注意 の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感 電の原因となることがあります。

## 電源について

# ▲警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の 原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ(プラ グ)の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となりま す。

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじった りしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると 電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使 用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。

## ▲注意

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持ってぬいてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあ ります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感 電の原因となることがあります。

## 設置場所について

## ▲注意

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の 温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

## お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

## ▲注意

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。 変色、変形、変質や故障の原因となります。

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

## まえがき

## Web ブラウザ

性能を十分に引き出すために、JavaScript に対応した Internet Explorer 4.0 以上、または Netscape 4.0 以上の Web ブラウザを使用してください。

## その他の商標

AIX、Apple、DOS、Ethernet、EtherTalk、HP、IBM、JetAdmin、Java、Netscape、インターネットエクスプローラ、LAN Server、Macintosh、Microsoft、Novell NetWare、OS/2、PostScript、UNIX、Windows、その他このマニュアルに記載のプログラム、規格などの商品名、または製品名は、一般的に各社の商標、または登録商標です。

## 責任

Axis は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を 負いません。また Axis は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して 変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するもの ではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生 じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の 利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に 対しても責任を負いません。Axis は、このマニュアルに含まれる記述、製 品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また 黙示的な保証を一切いたしません。

## 電波に関する適合性(EMC)

- **日本** AXIS 5600+、および AXIS 5400+ は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波 妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう 要求されることがあります。
- \*国 This equipment has been tested and fount to comply with the limits for a class B digitaldevice, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy, and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
  - Reorient or relocate the receiving antenna
  - Increase the separation between the equipment and the receiver
  - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected
  - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help Shielded (STP) network cables must be used with this unit to ensure compliance with the class B limits.
- This digital equipment fulfils the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022/1998, and the requirements for immunity according to EN55024/1998 residential, commercial, and light industry (Compliance is not valid for unshielded network and printer cables).

## このマニュアルについて

AXIS 5600+、AXIS 5400+(以下、Axis プリントサーバ)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。Axis プリントサーバは、お使いのプリンタをネットワーク上に自由に接続し、すべてのネットワークユーザが共有プリンタを利用できるようにします。

このマニュアルは、製品ソフトウェア(ファームウェア)リリース 6.30 以上を搭載した AXIS 5600+、および 6.20 以上を搭載した AXIS 5400+ に適用されます。

このマニュアルに記載されている手順は、初めて Axis プリントサーバを使用する際に必要となる設定に基づいています。既に使用している Axis プリントサーバをこの手順にしたがって設定する場合は、まず Axis プリントサーバを工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。詳しくは、104ページ「工場出荷時のデフォルト設定」を参照してください。

このマニュアルには、基本的な情報、および様々なネットワーク環境における Axis プリントサーバのインストール、また管理方法が記載されています。このマニュアルを最大限に活用するには、ネットワークの基礎知識が必要となります。

## Axis について

Axis Communications は、ネットワークに接続されたコンピュータ周辺機器に対する革新的なソリューションを提供します。1984年の創立以来、市場においても最も急速に成長している企業の一つであり、この分野におけるリーダー的存在です。

## ThinServer<sup>™</sup> テクノロジ

ThinServer テクノロジにより、Axis 製品はファイルサーバに依存しない、インテリジェントな ThinServer デバイスとして動作します。ThinServer デバイスは、マルチプロトコル通信、スケーラブルな RISC ハードウェア、標準的な Web ブラウザを利用した簡単なアクセスおよび管理を可能にする、内蔵 Web サーバ機能を備えた「スリム」なサーバソフトウェアを含むネットワークサーバです。ThinServer テクノロジは、様々な電子デバイスをネットワークに接続することを可能にし、「あらゆるものへのアクセス」を提供します。

## ネットワークプリントサーバ

ネットワーク上でプリンタを共有する、強力かつ経済性に優れた手段を提供します。標準的なプリンタと接続し、高性能かつ簡単な管理、さらにネットワーク経由でのアップグレードなどの機能を特徴としています。ネットワークプリントサーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版版があります。

## ネットワークカメラサーバ

標準的なインターネット技術を利用し、お使いの Web ブラウザからカメラ サーバにアクセスしてライブ画像を楽しむことを可能にします。インター ネットを利用したリモート監視を行うためのソリューションを提供すると ともに、そのシャープな画像は Web サイトに活気をもたらします。カメラ サーバは、イーサネットおよびファーストイーサネット、公衆電話回線に 対応しています。

## ネットワークドキュメントサーバ

ネットワークを利用し、紙をベースとした情報を簡単に配布することを可 能にします。読み込んだドキュメントをインターネット / イントラネット 経由で送信することにより、ファックスおよび郵便のコスト削減や作業時 間の短縮など、組織の作業効率の向上に役立ちます。

## サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された 製品ソフトウェア(ファームウェア)、ユーティリティソフトウェア、会社 情報など、Axis のホームページでご覧いただけます。

WWW: http://www.axiscom.co.jp/

## その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述 や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご 連絡ください。

AXIS 5600+ & AXIS 5400+ ユーザーズマニュアル

第1版

|Copyright®アクシスコミュニケーションズ株式会社、2001-2003

2003年3月

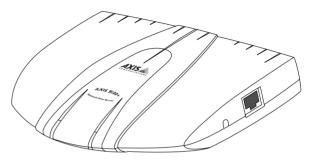
# 目次

第1章	はじめに	3
	利用方法	4
	機能と利点	5
第2章	製品の概要	7
	パッケージの内容 <sup>~</sup>	7
	AXIS Online CD	7
	プリントサーバの概要	8
第3章	基本インストール1	1
	インストール手順1	1
	ネットワークに接続する12	2
	プリントサーバの設定 - インストールガイド 14	4
	IP アドレスの割り当て1:	5
第 4 章	セットアップ - Windows	3
	AXIS Print Monitor を利用する2	3
	Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う 2:	5
	Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う27	7
	Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う3	1
	Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う34	4
第5章	セットアップ - NetWare 39	9
	AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ40	0
	印刷方法42	2
第6章	セットアップ - OS/2 4:	5
	AXIS Print Utility for OS/2 を利用する4:	
	Axis プリントサーバを OS/2 環境に統合する	
第 7 章	セットアップ - Macintosh	9
•	セレクタを利用したインストール4	9
	プリンタの選択	

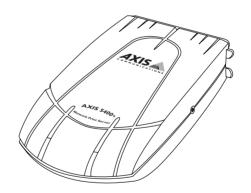
第8章	セットアップ - UNIX	55
	UNIX 環境でのインストール	55
	TCP/IP ネットワークにおける印刷方法	58
第9章	論理プリンタ	61
第 10 章	設定と管理	69
	Web ブラウザを利用する	70
	AXIS NetPilot を利用する	
	FTP を利用する	
	Telnet を利用する	
	SNMP を利用する	
	ノベル社のユーティリティを利用する	90
第 11 章	AXIS 5600+、AXIS 5400+ の新機能	93
	Auto-IP	93
	IPP (Internet Printing Protocol)	
	ネットワークの速度	98
第 12 章	ソフトウェアの更新	99
	更新されたソフトウェアを入手する	99
	ファームウェアをアップグレードする	99
第 13 章	テストボタン10	03
	パラメータリスト10	03
	工場出荷時のデフォルト設定10	04
第 14 章	パラメータリスト10	05
第 15 章	技術仕様1	15
付録 A	保証について1	19
付録 B	用語集12	21
索引		25

# 第1章 はじめに

AXIS ThinServer テクノロジを基に、AXIS 5600+、AXIS 5400+ (以下、Axis プリントサーバ) は、利用可能なプリンタ資源をネットワーク上のユーザが共有できるようにします。Axis プリントサーバは外付型のプリントサーバで、標準的なプリンタに接続することができます。



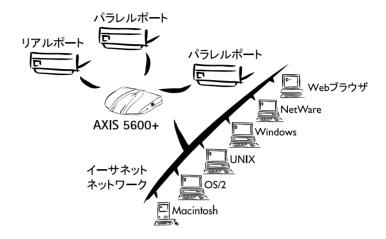
AXIS 5600+ プリントサーバ



AXIS 5400+ プリントサーバ

### 4 第1章 はじめに

## 利用方法



## 対応する環境

- Windows
- NetWare
- UNIX
- OS/2
- Macintosh
- インターネット / イントラネットを経由した JavaScript に 対応する Web ブラウザ

## <u>インストールと接続</u>

Axis プリントサーバのインストール、およびネットワークへの接続は、AXIS Online CD に含まれる Axis クライアントソフトウェアを利用して行います。

- AXIS Print Monitor Windows 環境でネットワークプリンタの設定および管理が行えます。
- AXIS NetPilot Windows 環境で、NetWare 環境へのプリント サーバのインストール、設定および管理が行えます。
- AXIS Print Utility for OS/2 OS/2 環境でネットワーク印刷を 行うためのアプリケーションです。
- axinstall UNIX 環境でネットワークプリンタの設定が行えます。

## 設定と管理

Axis プリントサーバは Web サーバを内蔵しています。この内 蔵 Web サーバにより、TCP/IP 上の HTTP を利用して Web サー バに含まれる内部 Web ページから直接 プリントサーバの設 定、管理が行えます。Web ブラウザを利用して Axis プリント サーバにアクセスすることにより、対応するすべてのネット ワーク環境に適した、プラットフォームに依存しない管理を 実現します。

お使いのネットワークが TCP/IP に対応していない場合は、 AXIS NetPilot を利用して Axis プリントサーバの設定・管理を 行うことも可能です。AXIS NetPilot は、IPX/SPX、および NetBIOS/NetBEUI プロトコルに対応しています。

## 機能と利点

信頼性

Axis プリントサーバは、優れたパフォーマンスと信頼性、さ らに低消費電力という特徴を持っています。電子回路には 32 ビット RISC プロセッサと、関連するネットワークコントロー ラで構成される AXIS ETRAX チップを採用しています。

柔軟性

Axis プリントサーバは、主要なコンピュータシステム、また ほとんどのコンピュータ環境に対応しています。さらに、AXIS 5600+ の場合は、3 台のプリンタに同時に印刷することができ ます。IPP (Internet Printing Protocol) 機能は、インターネッ トを経由した印刷を可能にします。

スピード AXIS ETRAX チップは LAN 製品のために設計され、PC とプリ ンタを直接接続した場合よりもより高速なスループットを提 供します。

簡単なインストール

Axis ユーティリティソフトウェアを利用して、Axis プリント サーバをお使いのネットワークに数分でインストールするこ とができます。

セキュリティ ログイン、およびプリンタへのアクセス (FTP を利用する場 合)の両方を制限するパスワードを設定できます。

監視

Axis プリントサーバの内部 Web ページを利用して、プリンタ のステータスを監視することができます。

Windows 95、98、Me のための AXIS Print Monitor は、ピア ツーピアプリントジョブのステータスを示すポップアップ メッセージを表示するように設定することができます。

Axis プリントサーバは、リモート監視のために SNMP にも対 応しています。

将来への対応

Axis プリントサーバは、ネットワークを経由したフラッシュ メモリのアップグレードが可能です。新しい製品ソフトウェ ア (ファームウェア) がリリースされた時には、ファームウェ アの素早い更新と、お使いの Axis プリントサーバの操作性の 向上を実現します。

# 第2章 製品の概要

## パッケージの内容

以下のリストを利用して、Axis プリントサーバのパッケージ 内容を確認してください。不足しているものや、破損してい るものがあった場合は、お買い上げの販売店にご連絡くださ い。

AXIS 5600+

AXIS 5400+

(製品番号:0129-001-02)

(製品番号:0130-001-01)

外部電源: PS-F (部品番号: 18480) 外部電源: PS-B (部品番号: 13936)

AXIS Online CD

お客様登録カード

### オプションアクセサリ

パラレルプリンタケーブル / 部品番号:13360

延長用パラレルプリンタケーブル / 部品番号:13522

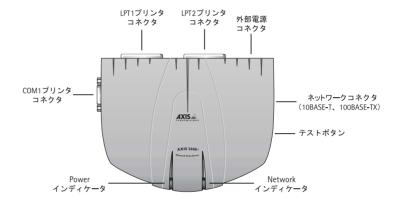
シリアルプリンタケーブル / 部品番号:13281

### AXIS Online CD

AXIS Online CD には、ユーティリティソフトウェア、ユーザーズマニュアル (PDF 形式)、および PDF 形式のファイルを閲覧するための Adobe Acrobat Reader が含まれています。

## プリントサーバの概要

### AXIS 5600+



AXIS 5600+ の外観図

**ネットワークコネクタ -** AXIS 5600+は、10Mbps イーサネット および 100 Mbps ファーストイーサネットネットワーク用に設 計されており、ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル(10BASE-T、 100BASE-TX)を利用してネットワークに接続します。AXIS 5600+ は、ローカルネットワークセグメントの速度(10Mbps または 100Mbps)を自動的に検知する機能を備えています。

プリンタポート - AXIS 5600+ は、高速 IEEE1284 互換パラレルポートを 2 つ、シリアルポートを 1 つ備えています。どのポートにも標準的なプリンタを接続することができます。 印刷データは、3 つのポートに同時に送ることが可能で、利用するプロトコルにかかわらず 3 台のプリンタを同時に使用することができます。

**テストボタン** - テストボタンは、以下の作業に利用します。

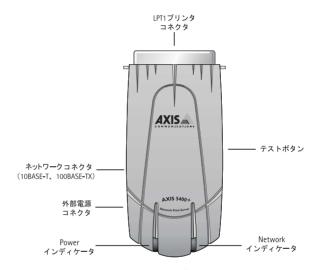
- プリンタとの接続を確認するために、テストページを印刷する。
- AXIS 5600+の設定内容を示すパラメータリストを印刷する。
- AXIS 5600+ のパラメータを、工場出荷時のデフォルト設定 にリセットする。

注意: □ PostScript ファイル、また ASCII テキストを印刷できないプリンタの場合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

Network インディケータ - Network インディケータが点滅し、ネットワークのトラフィックを示します。トラフィックに関わらず、点灯しない場合、また点滅する場合は、Axis プリントサーバまたは外部電源アダプタに問題があります。

Power インディケータ - Power インディケータは、電源が供給されている時に点灯します。点灯しない場合、また点滅する場合は、Axis プリントサーバまたは外部電源アダプタに問題があります。

### AXIS 5400+



AXIS 5400+ の外観図

ネットワークコネクタ - AXIS 5400+は、10Mbps イーサネット および 100 Mbps ファーストイーサネットネットワーク用に設計されており、ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル(10BASE-T、100BASE-TX)を利用してネットワークに接続します。AXIS 5400+ は、ローカルネットワークセグメントの速度(10Mbps または 100Mbps)を自動的に検知する機能を備えています。

プリンタポート - AXIS 5400+ は、高速 IEEE1284 互換パラレルポートを 1 つ備えています。 このポートに標準的なプリンタを接続することができます。

**テストボタン** - テストボタンは、以下の作業に利用します。

- プリンタとの接続を確認するために、テストページを印刷 する。
- AXIS 5400+の設定内容を示すパラメータリストを印刷す る。
- AXIS 5400+ のパラメータを、工場出荷時のデフォルト設 定にリセットする。

### 注意: □ PostScript ファイル、また ASCII テキストを印刷できないプリンタの場 合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

**Network インディケータ -** Network インディケータが点滅し、 ネットワークのトラフィックを示します。トラフィックに関 わらず、点灯しない場合、また点滅する場合は、Axis プリン トサーバまたは外部電源アダプタに問題があります。

Power インディケータ - Power インディケータは、電源が供給 されている時に点灯します。点灯しない場合、また点滅する 場合は、AXIS 5400+ または外部電源アダプタに問題がありま す。

## 第3章 基本インストール

## インストール手順

**7**ページ「パッケージの内容」に示されている付属品がすべて そろっていることを確認できたら、Axis プリントサーバのイ ンストールを開始してください。

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバプリントサーバをお使いのネットワークにインストールしてください。

- 12 ページ「ネットワークに接続する」を参考に、ケーブル類の接続を行います。
- 14 ページ「プリントサーバの設定 インストールガイド」を参考に、Axis プリントサーバの設定を行います。
- IPアドレスを手動で設定する必要がある場合は、15ページ「IP アドレスの割り当て」を参考に、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てます。

## ネットワークに接続する

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバを付属の外部電源、お使いのプリンタ、ネットワークに接続してください。

# **警告!** 付属の外部電源アダプタが、AXIS 5600+ の場合は PS-F、AXIS 5400+ の場合は PS-B アダプタであることを確認してください。

- 1. 使用するプリンタの電源が切れていること、さらに Axis プリントサーバの外部電源アダプタがまだ接続されていないことを確認します。
- 2. Axis プリントサーバの底面ラベルに記載されている、シリアル番号を控えてください。プリントサーバの IP アドレスを設定する際に、このシリアル番号が必要になります。
- 3. AXIS 5600+ の場合は、適切なプリンタケーブルを使用して LPT1、LPT2、または COM1 ポートにプリンタを接続します。AXIS 5400+ の場合は、プリンタのパラレルポートに直接接続します。
- 4. ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル (10BASE-T、または 100BASE-TX) を使用して、Axis プリントサーバをネット ワークに接続します。
- プリンタの電源を入れ、Axis プリントサーバの外部電源 アダプタを接続します。Network インディケータが点滅し、 Axis プリントサーバが正しくネットワークに接続された ことを示します。
- 6. Axis プリントサーバのテストボタンを 1 回押して、テストページを印刷します。プリンタと Axis プリントサーバが正しく接続されていれば、Axis プリントサーバの内部テストページが印刷されます。ネットワーク上で DHCPサーバが動作している場合は、Axis プリントサーバをネットワークに接続した時に自動的に IP アドレスが割り当てられます。割り当てられた IP アドレスは、テストページに印刷されます。手動、および他の方法で Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てる必要がある場合は、15ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

お使いのネットワークに Axis プリントサーバをインストール する準備が整いました。14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」を参照し、インストールを行ってくだ さい。

- 注意: ロ プリンタが PostScript ファイル、または ASCII テキストファイルを印刷 できない場合は、テストページは印刷できません。
  - □ テストページには、製品ソフトウェア(ファームウェア)のバージョ ン、IP アドレス、ネットワーク速度などの重要なパラメータが含ま れます。

## プリントサーバの設定 - インストールガイド

## 設定方法

Axis プリントサーバのネットワークへの接続が完了したら、 Axisプリントサーバの基本的な設定を行うことができます。以 下の表を参考に、お使いのプリンタ、ネットワーク環境に合っ た方法を選択してください。

環境	ネットワーク設定	参照先
Windows 95/98/Me	TCP/IP	23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows I
	NetBIOS/NetBEUI	Z3・ハーフ・毎4早 セットアッフ - Williaows」
Windows NT	TCP/IP	31 ページ「Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う」
Windows 2000	TCP/IP	34 ページ「Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う」
	IPP	93 ページ「IPP(Internet Printing Protocol)」
NetWare	IPX/SPX	39 ページ「第 5 章 セットアップ - NetWare」
OS/2	NetBIOS/NetBEUI	45ページ「第6章 セットアップ - OS/2」
Macintosh	AppleTalk	49ページ「第7章 セットアップ - Macintosh」
UNIX	TCP/IP	55 ページ「第 8 章 セットアップ - UNIX」

# 管理ツール

インストールと Axisプリントサーバの管理および設定には、適切なインストー ルツールを利用してください。以下の表に、概要を示します。

環境	プロトコル	ツール
Windows 95/98/Me	TCP/IP、 NetBIOS/NetBEUI	AXIS Print Monitor
Windows NT	TCP/IP	Windows NT の機能を使用
Windows 2000	TCP/IP、IPP	Windows 2000 の機能を使用
NetWare	IPX/SPX	AXIS NetPilot NetWare アドミニストレータ
OS/2	NetBIOS/NetBEUI	AXIS Print Utility for OS/2
Macintosh	AppleTalk	セレクタを使用
UNIX	TCP/IP	axinstall

各 OS で推奨するツール

## IP アドレスの割り当て

TCP/IP ネットワークトで Axis プリントサーバの内部 Web ペー ジを利用して設定および管理を行うには、Axis プリントサー バに IP アドレスを割り当てる必要があります。以下の手順に したがって、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てて ください。

## 始める前に

システム権限

Windows NT Server から IP アドレスの設定を行う場合は、 Administrator 権限が必要になります。UNIX システムから IP ア ドレスの設定を行う場合は、root 権限が必要になります。

物理アドレス

IP アドレスの割り当てを行うには、Axis プリントサーバの物 理アドレスが必要になります。物理アドレスは、Axis プリン トサーバの底面ラベルに記載されているシリアル番号に基づ いています。たとえば、00408C100086 というシリアル番号を 持つ Axis プリントサーバの物理アドレスは、00 40 8C 10 00 86になります。

IPアドレス

DHCP 以外の方法で IP アドレスの割り当てを行う場合は、ネッ トワーク管理者から未使用の IP アドレスを入手する必要があ ります。

重要:

□ Axisプリントサーバをインストールする際、以下の例に使用されてい るIPアドレスをそのまま使用しないでください。IPアドレスの割り 当てを行う前に、必ずネットワーク管理者に相談してください。

## IPアドレスの 設定方法

お使いのネットワーク環境に応じて、以下のいずれかの方法 で Axis プリントサーバの IP アドレスの設定を行うことができ ます。

方法	ネットワーク環境	参照ページ
DHCP	Windows NT/2000	17 ページ「DHCP を利用する」
ARP	Windows 95/98/NT/2000/Me	19 ページ「Windows で ARP を 利用する」
	UNIX	20ページ「UNIX で ARP を 利 用する」
RARP *	UNIX	21ページ「UNIX で RARP を利用する」
BOOTP *	UNIX	22 ページ「UNIX で BOOTP を 利用する」
Auto-IP *	Windows 98/2000/Me	18ページ「DHCP と Auto-IP」

<sup>\*</sup> Axis プリントサーバの IP アドレスは自動的に設定されます。

### 注意:

- □ ARP および RARP のよる設定方法は、単一のネットワークセグメント 上でのみ動作します。ルータを越えて利用することはできません。
- □ ARPおよびPINGの組み合わせによるIPアドレスの設定方法は、Axisプ リントサーバの再起動直後の10分間だけ有効となります。
- Macintosh 環境での IP アドレスの設定方法については、52 ページ「パ ラメータを 設定する」を参照してください。

### ホスト名の関連付け

動的なIPアドレスの設定が可能なネットワーク上でAxisプリ ントサーバのホスト名を登録する場合、WINS(Windows Internet Name Service) および DDNS (Dynamic Domain Naming System) を利用することができます。常に DHCP を利用して IP アドレスの設定を行う場合は、WINS または DDNS のどちら かを利用することをお勧めします。

Axis プリントサーバのホスト名は、PS NAME パラメータで設 定できます。詳しくは、105ページ「第14章 パラメータリス ト」を参照してください。

### WINS の制限

WINS は最長 15 文字のホスト名に対応しています。ホスト名 が 15 文字以上の場合、Axis プリントサーバは 15 文字を超え る部分を切り捨てて WINS サーバにホスト名を登録します。 WINS サーバに登録された Axis プリントサーバのホスト名は、 Axis プリントサーバの内部 Web ページで確認することができ ます。

### DDNS の規則

DDNS は最長 47 文字のホスト名に対応しています。使用でき る文字は、[A-Z]、[a-z]、[0-9]、およびハイフン (-) です。 これ以外の文字を使用した場合、DDNS サーバに登録するとき に使用できない文字はすべてハイフン(-)に変換されます。 DDNS サーバに登録された Axis プリントサーバのホスト名は、 Axis プリントサーバの内部 Web ページで確認することができ ます。

もしホスト名が DDNS データベース内の他のエントリと一致 した場合、Axis プリントサーバはホスト名の登録を行う前に そのエントリを削除します。

### 注意:

- □ WINSサーバとDDNSサーバに同じホスト名を登録する場合、ホスト名 に使用できる文字数は 15 文字、使用できる文字は「A-ZI、「a-ZI、 「0-9」およびハイフン(-)になります。
- □ ホスト名の名前解決については、お使いのシステムのマニュアルを 参照するか、ネットワーク管理者に相談してください。

## DHCP を利用する

以下の手順にしたがって、DHCP を利用して IP アドレスの割 り当てを行います。

- 1. DHCP マネージャで、スコープの編集または作成を行いま す。スコープに含まれるパラメータは、以下のとおりです。
  - IP アドレスの範囲
  - サブネットマスク
  - デフォルトゲートウェイの IP アドレス
  - WINS サーバの IP アドレス、または DDNS サーバの IP アドレス
  - リース期間

- 2. スコープをアクティブにします。Axis プリントサーバは、 再起動すると自動的に DHCP パラメータを読み込みます。 WINS または DDNS を利用している場合、DHCP スコープ に WINS または DDNS サーバの IP アドレスを最低でも一 つ含める必要があります。Axis プリントサーバは IP アド レスを受け取るとすぐに、WINS または DDNS サーバに Axis プリントサーバのホスト名と IP アドレスを登録しま す。詳しくは、16ページ「ホスト名の関連付け」を参照 してください。
- 3. Axis プリントサーバは、TFTP (Trivial File Transfer Protocol) サーバからカスタマイズされた config ファイル (Axis プ リントサーバの設定ファイル) を自動的に読み込むことが できます。DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加してください。Axis プリ ントサーバは IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファ イルを読み込みます。
- 4. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続 いて、14ページ「プリントサーバの設定 - インストール ガイド」に進んでください。

### 注意: □ IPアドレスを読み込むために、Axis プリントサーバを再起動する必要 はありません。

□ Axis プリントサーバを工場出荷時の状態にリセットした後に、DHCP による IP アドレスの割り当てが行われなかった場合は、Auto-IP 機能 によってIPアドレスの割り当てが行われます。

### DHCP & Auto-IP Auto-IP は、DHCP サーバが利用できない場合に IP アドレスを 設定する、もう一つの方法です。

ネットワークトで DHCP サーバが動作している場合、Axis プ リントサーバはネットワークに接続されるとすぐにDHCPサー バから IP アドレスを受け取ります。DHCP サーバから IP アド レスを受け取れなかった場合、Axis プリントサーバは Auto-IP によって IP アドレスを割り当てられます。Auto-IP はデフォル トで有効に設定されており、ユーザによる設定は特に必要あ りません。

## Windows で ARP を 利用する

以下の手順にしたがって、ARP を利用して IP アドレスを設定 してください。

- 1. DOS 窓(コマンドプロンプト、DOS プロンプト)を 開きます。
- 2. 以下のコマンドを実行します。

arp -s IP ア<mark>ドレス 物理アドレス</mark> ping IP アドレス arp -d IP アドレス

### 例:

arp -s 192.168.70.183 00-40-8c-10-00-86 ping 192.168.70.183 arp -d 192.168.70.183

ホストからReply from 192.168.70.183 ...のような応 答が返ります。これにより、アドレスが設定され、さらに通 信が確立したことが分かります。

3. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続 いて、14 ページ「プリントサーバの設定 - インストール ガイド」に進んでください。

### 注意:

□ Windows 95環境でARPを使用する場合は、コマンドの最初の行を以下 のように変更してください。Win95 ホスト IP アドレス は、お使い のコンピュータの IP アドレスです。

arp -s IP アドレス 物理アドレス Win95 ホストIP アドレス

- □ 初めて ping コマンドを実行した場合、反応があるまでに通常よりも 長い時間がかかることがあります。
- ロ ARPとPINGを利用したIPアドレスの設定方法は、Axisプリントサーバ の起動直後の10分間だけ有効になります。
- □ arp -d コマンドを実行すると、ホストのキャッシュメモリから ARP テーブルの static エントリが削除されます。

## UNIX で ARP を 利用する

以下の手順にしたがって、ARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. シェルウィンドウで以下のコマンドを実行してください。

arp -s *ホスト名 物理アドレス* temp ping *ホスト名* 

### 例:

arp -s npsname 00:40:8c:10:00:86 temp
ping npsname

- 2. ホストは、npsname is alive のような応答を返します。 これにより、アドレスが設定され、さらに通信が確立した ことが分かります。
- 3. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 インストールガイド」に進んでください。

# **注意**: ロ ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名の エントリに IP アドレスを入力してください。

□ ARP コマンドの書式は、UNIX システムによって異なる場合があります。ある種の BSD 系システムは、ホスト名と物理アドレスの順番が逆である必要があります。また、IBM AIX システムは、追加の引数 ether を必要とします。

### 例:

|arp -s ether *ホスト名* 00:40:8c:10:00:86 temp

- □ 初めて ping コマンドを実行した場合、反応があるまでに通常よりも 長い時間がかかることがあります。
- □ ARPとPINGを利用したIPアドレスの設定方法は、Axisプリントサーバ の起動直後の10分間だけ有効になります。

## UNIX で RARP を 利用する

以下の手順にしたがって、RARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. お使いのシステムの物理アドレステーブル (通常、/etc/ethers) に、以下の行を追加します。

### 物理アドレス ホスト名

### 例:

00:40:8c:10:00:86 npsname

- 2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネー ミングサービスのデータベースを更新します。
- 3. まだ動作していない場合は、RARP デーモンを起動します。 これは、一般的に rarpd -a コマンドを利用して実行し ます。
- 4. Axis プリントサーバを再起動し、IP アドレスを設定します。
- 5. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 インストールガイド」に進んでください。

### 注意:

- □ ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名の エントリに IP アドレスを入力してください。
- □ IBM AIXをお使いの場合は、おそらく RARP デーモンが用意されていません。その場合は、代わりに ARP または BOOTP のいずれかの方法を利用してください。

## UNIX で BOOTP を 利用する

以下の手順にしたがって、BOOTP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. お使いのシステムのブートテーブル (通常、/etc/bootptab) に、以下の行を追加します。

*ホスト名*:ht= *ハードウェアタイプ*:vm= ベンダマジック:\ :ha= *ハードウェアアドレス*:ip=*IP アドレス*:\ :sm= サブネットマスク:qw= デフォルトゲートウェイ

### 例:

npsname:ht=ether:vm=rfc1048:\
:ha=00408c100086:ip=192.168.70.183:\
:sm=255.255.255.0:qw=192.168.70.1

- 2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
- 3. まだ動作していない場合は、BOOTP デーモンを起動しま す。これは、一般的に bootpd コマンドを利用して実行し ます。
- 4. Axis プリントサーバを再起動し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。Axis プリントサーバは、TFTP (Trivial File Transfer Protocol) サーバからカスタマイズされた config ファイル (Axis プリントサーバの設定ファイル)を自動的に読み込むことができます。DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加してください。Axis プリントサーバは IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。
- Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 インストールガイド」に進んでください。
- □ htとvmのフィールドは、例に示されているとおりに入力してくだ さい。
- ha フィールドは、物理アドレスまたはノードアドレスです。ip フィールドは、Axis プリントサーバの IP アドレスです。
- □ gw と sm フィールドは、デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの値になります。
- ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名の エントリに IP アドレスを入力してください。
- □ IPアドレスを設定するには、Axisプリントサーバを再起動する必要があります。

# 第 4 章 セットアップ - Windows

Axis プリントサーバをネットワークに接続するには、12 ページ「ネットワークに接続する」の手順にしたがってください。この章では、Axis プリントサーバを Windows 環境にインストールする手順について説明します。以下の表を参考に、お使いの環境に適した方法でインストールを行ってください。

Windows 環境	プロトコル	参照先
Windows 95	TCP/IP	23 ページ「AXIS Print Monitor を利用する」 27 ページ「Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う」
Windows 98 Windows Me	NetBIOS/NetBEUI	23 ページ「AXIS Print Monitor を利用する」 25 ページ「Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う」
Windows NT 4.0 Windows 2000	TCP/IP	31 ページ「Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う」 34 ページ「Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う」

複数のプロトコルが存在する環境で Axis プリントサーバを使用する場合は、以下の章も参照してください。

39 ページ「第5章 セットアップ - NetWare」

45 ページ「第6章 セットアップ - OS/2」

49 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」

55 ページ「第8章 セットアップ - UNIXI

## AXIS Print Monitor を利用する

AXIS Print Monitor は、AXIS Online CD に含まれています。また、Axis のホームページ(http://www.axiscom.co.jp/)からダウンロードすることができます。

AXIS Print Monitor は、Windows 95、Windows 98、Windows Me 環境でネットワーク印刷を行うためのツールです。AXIS Print Monitor により、ローカルプリンタポートにインストールされているプリンタを利用するのと同じように、簡単に Axis プリントサーバを利用できるようになります。また、AXIS Print Monitor は、一度インストールされると、システムの起動時に自動的に立ち上るようになります。

## AXIS Print Monitor $\sigma$ インストール

AXIS Print Monitor は、AXIS Online CD に含まれています。「ス タート〕メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択 し、「名前」フィールドに以下のように入力してください (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)。

D:\software\pm np\pm3011\j.exe

ウィザードの手順にしたがって、インストールを行ってくだ さい。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足 資料」を参照してください。

## AXIS Print Monitor

とは

AXIS Print Monitor は、Windows 95、98、Me 環境でピアツー ピア印刷を行うために開発された Windows コンポーネント (DLL) です。プリントジョブを Axis プリントサーバに直接送 ることができます。

## ピアツーピア印刷

ピアツーピア印刷を行う場合、それぞれの PC に AXIS Print Monitor をインストールする必要があります。一度 AXIS Print Monitor をインストールすると、お使いの PC に直接接続され ているプリンタにアクセスするかのように、ネットワークト のすべてのプリンタにアクセスできます。ピアツーピア印刷 には、以下のような利点があります。

- エラー状態をポップアップメッセージで表示することに より、お使いのプリンタの状態を簡単に監視することが できます。
- 他のサーバに頼る必要がありません。

### 注意:

AXIS Print Monitor を利用して DOS 窓(MS-DOS プロンプト)から印刷す ることはできません。

## Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う

以下の手順にしたがって、AXIS NetBIOS/NetBEUI Port を利用 するプリンタをインストールしてください。

- 1. Windows の [スタート] メニューから、[設定] [プリンタ] を選択します。[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加ウィザード] を開始します。
- 2. 最初の画面で [次へ] をクリックします。ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。Axis プリントサーバはローカルポートとして振る舞うため、[ローカルプリンタ] を選択します。 [次へ]をクリックします。



3. 製造元とプリンタの一覧からプリンタに適したプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックして手順 6 へ進んでください。利用するプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

# 注意: □ 製造元からプリンタドライバが提供されている場合は、そのドライバを使用することをお勧めします。

- 4. [ディスク使用]をクリックします。ドライバの保存されたフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。 適切なドライブを選択し、[OK] をクリックします。
- 5. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

26

6. [利用可能なポート] リストから、AXIS Port を選択してください。ポート名は、名前.LP1、名前.LP2のように表示されます。名前は、AXの後に Axis プリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字を続けた形式で表示され、「AX5556A3.LP1」のようになります。[ポートの設定] ボタンをクリックします。



7. プリンタのエラー状態を示すポップアップメッセージを表示する場合は、[AXIS Port の設定] ダイアログボックスに表示されるチェックボックスをオンにします。また、再試行後にどのくらいの頻度でエラーメッセージを表示するか、定義してください。[OK] をクリックします。



- **8.** 適切なプリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。
- 9. テストページを行うかどうか選択し、[完了] をクリックします。

AXIS NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタがインストールされました。

## Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う

TCP/IP 印刷を行うには、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てておく必要があります。IP アドレスの割り当てについては、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

## <u>LPR Port を利用する</u> <u>プリンタの</u> インストール

以下の手順にしたがって、Windows 95、98、Me 環境に AXIS LPR Port を利用するプリンタをインストールしてください。

- 1. Windows の [スタート] メニューから、[設定] [プリンタ] を選択します。[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード] を開始します。
- 2. 最初の画面で [次へ] をクリックします。ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。Axis プリントサーバはローカルポートとして振る舞うため、[ローカルプリンタ] を選択します。 [次へ] をクリックします。



3. 製造元とプリンタの一覧からプリンタに適したプリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックして手順6へ進んでください。利用するプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、手順4へ進んでください。

# **注意**: 型 製造元からプリンタドライバが提供されている場合は、そのドライバを使用することをお勧めします。

- 4. [ディスク使用]をクリックします。ドライバの保存されたフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。 適切なドライブを選択し、「OK 】をクリックします。
- 5. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

- 6. [利用可能なポート] リストから、AXIS Port を選択してください。ポート名は「LPT1@192.168.70.183」のように、ポート名@IP アドレス、またはポート名@ホスト名の形式で表示されます。新しい LPR Port をインストールする場合は、Printers@TCP/IP ポートを選択し、手順 10. 以降の設定も行ってください。
- 7. [ポートの設定] ボタンをクリックします。[AXIS LPR Port の設定] ダイアログボックスを開きます。プリンタのエラー状態をポップアップメッセージ表示するかどうかを選択します。また、再試行後、どのくらいの頻度でエラーメッセージを表示するかどうか定義します。設定後、[OK] をクリックします。

### 注意: □ Printers@TCP/IP ポートは、印刷のために利用することはできません。

- 8. [次へ] をクリックします。適切なプリンタの名前を入力 し、[次へ] をクリックします。
- 9. テストページを行うかどうか選択し、[完了] をクリックします。

手順 6. で Printers@TCP/IP を選択し、新しい LPR Port にプリンタをインストールする場合は、以下の手順にしたがってください。

10. 定義したプリンタは、[プリンタ] フォルダに表示されます。プリンタオブジェクトをマウスの右ボタンでクリックし、ショートカットメニューから[プロパティ]を選択します。[プリンタのプロパティ] ウィンドウから[詳細]タブを選択します。



11. [ポートの追加] をクリックし、利用できるポートを表示します。ポートの種類から [その他] を選択し、リストから [AXIS Port] を選択します。[OK] をクリックします。



 ネットワークプロトコルから [LPR (TCP/IP)] を選択し、 [OK] をクリックします。



13. Axis プリントサーバの IP アドレス (またはホスト名)、および適切なプリンタ名を入力します。[OK] をクリックします。



プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、プリンタ名に次の値が入ります。

- LPT1 にプリンタを接続している場合: LPT1 または pr1
- LPT2 にプリンタを接続している場合:LPT2 または pr2
- COM1 にプリンタを接続している場合: COM1 または pr3

30

14. 新しい LPR Port が、利用できるポートのリストに自動的 に追加されます。[OK] をクリックします。



15. 手順 7. の説明にしたがって、ポートの設定を行います。 [OK] をクリックします。



**16.** [**OK**] をクリックして [プリンタのプロパティ] ウィンドウを閉じます。

AXIS LPR Port を利用するプリンタがインストールされました。

# Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う

# <u>Windows NT 4.0 付属</u> <u>の LPD モニタを利用</u> する

この項目では、Windows NT に付属の LPD モニタを利用して TCP/IP プロトコル上で LPR/LPD 印刷を行うための、設定方法を説明します。

#### 基本設定

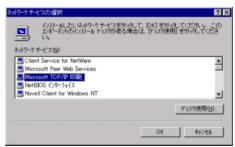
LPD 印刷のためのプリンタのインストールを行う前に TCP/IP の基本的な設定を行ってください。

### LPR/LPD 印刷の準備

コントロールパネルを開き、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。[サービス] タブの一覧に、[Microsoft TCP/IP 印刷] が表示されている場合は、LPR/LPD 印刷機能がインストールされています。[ネットワーク] ダイアログボックスを閉じ、32ページ「プリンタを インストールする」に進んでください。

以下の手順にしたがって、LPR/LPD 印刷を行うためのサービスをインストールしてください。

- 1. [コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] アイコン をダブルクリックします。
- 2. 「サービス」タブを選択します。
- 3. [追加] ボタンをクリックします。[ネットワークサービス の選択] 画面で [Microsoft TCP/IP 印刷] を選択し、[OK] をクリックします。



4. 「Windows NT セットアップ」ダイアログが表示されます。 適切な場所を指定して「続行」をクリックします。



- 5. 「閉じる」をクリックして「ネットワーク」ウィンドウを 閉じます。
- 6. 再起動を求める画面が表示されたら、「はい」をクリック してコンピュータを再起動します。

# プリンタを インストールする

以下の手順にしたがって、LPR/LPD 印刷のためのプリンタをイ ンストールします。

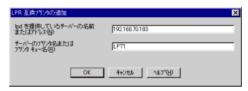
- 1. 「コントロールパネル」を開き、「プリンタ」フォルダをダ ブルクリックします。
- 2. [プリンタの追加]をクリックします。次の画面で[この コンピュータ〕を選択し、「次へ」をクリックします。



3. 「ポートの追加」をクリックします。利用可能なプリンタ ポートの一覧から「LPR Port」を選択し、「新しいポート」 をクリックします。



4. [LPR 互換プリンタの追加] ダイアログボックスで、lpd を 提供するプリントサーバとして、Axis プリントサーバの ホスト名、または IP アドレスを入力します。また、サー バのプリンタ名、またはプリンタキュー名として LPT1 な どを入力し、[OK] をクリックします。[閉じる] をクリッ クしてダイアログボックスを閉じます。[次へ] をクリッ クします。



プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、プリンタ名またはプリントキュー名に次の値が入ります。

- LPT1 にプリンタを接続している場合: LPT1 または pr1
- LPT2 にプリンタを接続している場合: LPT2 または pr2
- COM1 にプリンタを接続している場合: COM1 または pr3
- 5. 利用するプリンタに合った適切なプリンタドライバを選択します。[次へ] をクリックします。
- 6. プリンタ名を入力し、「次へ」をクリックします。
- 7. プリンタを共有するかどうか指定し、[次へ] をクリック します。
- 8. テストページを印刷するかどうか指定し、[次へ]をクリックします。
- 9. 「完了」をクリックします。

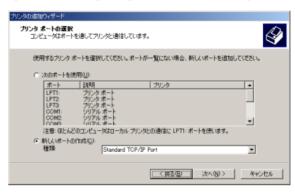
# Windows 2000 で TCP/IP 印刷を行う

この項目では、Windows 2000 に付属の標準 TCP/IP 印刷サービスを利用して TCP/IP プロトコル上で印刷を行うための設定方法を説明します。 TCP/IP 印刷サービスは、Windows 2000 のインストール時に標準でインストールされます。

- 1. Administrator の権限で Windows 2000 にログオンします。
- 2. [スタート] メニューから、[設定] [プリンタ] を選択します。
- 3. [プリンタの追加アイコン] をダブルクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。
- 4. ローカルまたはネットワークプリンタの選択画面が表示 されます。[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をク リックします。



5. プリンタポートの選択画面で、[新しいポートの作成] を 選択します。[種類] フィールドから、[Standard TCP/IP Port] を選択し、[次へ] をクリックします。



- **6.** 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。 [次へ] をクリックします。
- 7. ポートの追加画面が表示されます。[プリンタ名または IP アドレス] フィールドに、Axis プリントサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。[ポート名] フィールドは Axis プリントサーバのポート名ではなく、これから作成するポート自身の名称です。任意に入力することもできますが、自動で設定されますので、そのまま [次へ] をクリックしてください。



8. ポート情報に関する画面が表示されます。プリンタが接続 されているポートを選択し、「次へ」をクリックします。



- 9. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの終了画面 が表示されます。「完了」をクリックします。
- 10. プリンタの製造元とモデルを選択する画面が表示されま す。利用するプリンタに合った、適切な製造元とモデルを 選択してください。「次へ」をクリックします。
- 11. プリンタ名を入力する画面が表示されます。利用するプリ ンタの名前を入力し、「次へ」をクリックします。
- 12. プリンタの共有を指定する画面が表示されます。共有する 場合は、ネットワーク上で表示するプリンタの共有名を指 定してください。「次へ」をクリックします。
- 13. テストページの印刷画面が表示されます。「いいえ」を選 択して「次へ」をクリックします。
- 14. プリンタの追加ウィザードの完了画面が表示されます。 [完了] をクリックします。



- 15. [スタート] メニューから、[設定] [プリンタ] を選択します。[プリンタ] フォルダに、作成したプリンタのアイコンが表示されます。
- 16. 作成したプリンタアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから[プロパティ]を選択します。プリンタのプロパティ画面で、[ポート] タブをクリックします。



- **17.** 作成したポートが選択されているのを確認し、[ポートの 構成] ボタンをクリックします。
- 18. [標準 TCP/IP ポートモニタの構成] 画面が表示されます。 [プロトコル] オプションで [LPR] が選択され、[LPR 設定] の [キュー名] フィールドに適切なポート名が表示されていることを確認してください。正しくない場合は設定を変更してください。[OK] をクリックします。



注意: 📮 手順 9、標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了画面で、 アダプタの種類として「Axis Print Server」以外が表示された場合は、 これらの設定が正しくありませんので、必ず設定を確認してくださ い。

> プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、次の値 が入ります。

- LPT1 にプリンタを接続している場合: LPT1 または pr1
- LPT2 にプリンタを接続している場合: LPT2 または pr2
- COM1 にプリンタを接続している場合: COM1 または pr3
- 19. プリンタのプロパティ画面で、[全般] タブをクリックし ます。「テストページの印刷」ボタンをクリックし、印刷 ができることを確認します。

# 第 5 章 セットアップ - NetWare

この章では、NetWare 環境への Axis プリントサーバのインストール方法について説明します。

#### インストール方法 プロトコル 参照

NetBEUI IPX/SPX 40 ページ「AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ」

Axis プリントサーバをマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows」

45ページ「第6章 セットアップ - OS/2」

49 ページ「第7章 セットアップ - Macintosh」

55ページ「第8章 セットアップ - UNIX」

#### AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ

AXIS Online CD に含まれている、AXIS NetPilot をインストールしてください。[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] フィールドに以下のように入力してください (CD-ROMドライブが Dドライブの場合)。

D:\footnote{\text{software}\text{pm\_np}\text{pm3011j.exe}

ウィザードの手順にしたがって、インストールを行ってください。NetPilotをインストールする場合は、インストール方法で「カスタム」を選択してください。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足資料」を参照してください。AXIS NetPilot は、Windows 95、98、NT、Me に対応しています。

# Axis プリントサーバ をインストールする

以下の手順にしたがって、AXIS NetPilot を利用して Axis プリントサーバをインストールしてください。

- 1. [スタート] メニューから、[プログラム] [AXIS ユーティリティ] [NetPilot] [AXIS NetPilot] を選択します (インストールの際に指定したディレクトリによって、メニューの名称が異なる場合があります)。
- 2. [未設定 AXIS プリントサーバ] フォルダをクリックします。右側に表示されるプリントサーバの一覧からインストールするプリントサーバをクリックして選択し、[インストール] ボタンをクリックします。ご利用のネットワークの規模が大きい場合、プリントサーバの検索に時間がかかる場合があります。
- 3. [インストレーションウィザードを使ってインストールする] オプションを選択し、[OK] をクリックします。以下の画面が表示されます。



AXIS NetPilot インストレーションウィザードのメイン画面

インストレーションウィザードの手順にしたがって、以下の オプションを設定してください。

注意: □ お使いの環境によって、利用できるオプションが異なります。

プリントサーバ名 デフォルトのプリントサーバ名は、「AXIS」の後にシリアル番 号の下 6 桁を続けた英数字になります。プリントサーバ名を 変更する場合は、新しい名前を指定してください。

環境

Axis プリントサーバを設定するネットワーク環境 (NetWare、 TCP/IP、Windows、OS/2、AppleTalk) を選択します。ご利用の ネットワークが複数のプラットフォームで構成される場合 は、任意の組み合わせによる環境を有効にすることができま す。

NetWare NDS NDSツリー中、あるいは、特定のバインダリサーバ上にNetWare プリントキューを置きます。

IPアドレス Axis プリントサーバが IP アドレスを取得する方法を選択しま す。DHCP、ARP、RARP、BOOTPに対応しています。また、手 動でIPアドレスを設定することもできます。

プリントキュー Axis プリントサーバは、プリントサーバ名にプリンタポート の名前を続けたものをデフォルトのプリントキュー、または プリントサーバポート名に使用します。デフォルトのプリン トキュー名を変更する場合は、新しい名前を指定してくださ 11

環境	デフォルト名
NetWare	AXIS5556A3_LPT1_Q AXIS5556A3_LPT2_Q AXIS5556A3_COM1_Q
Windows、OS/2	AX5556A3.LP1 AX5556A3.LP2 AX5556A3.CM1
AppleTalk	AXIS5556A3_LPT1 AXIS5556A3_LPT2 AXIS5556A3_COM1

各 OS 環境におけるデフォルトの プリントキュー名とプリントサーバポート名

#### 管理者用パスワード

管理者用のパスワードを設定すると、プリントサーバの設定 を変更する際にパスワードの入力が必要になります。

#### テストページ

NetWare 経由でテストページを印刷するかどうか選択するこ とができます。テストページは、Axis プリントサーバが接続 するすべての NetWare サーバ名を表示し、個々の接続のステー タスを示します。

追加のプリントキューを接続・作成しない場合は、これで NetWare 環境でのインストールは完了です。

#### 注意:

- □ インストレーションウィザードで入力したパラメータは、必要に応 じていつでも変更することができます。
- □ インストレーションウィザードの設定中に誤ったパラメータを設定 してしまっても、問題はありません。印刷結果に満足できない場合 は、必要に応じてパラメータの調整を行うことができます。

### 印刷方法

以下に、NetWare 環境で対応している 2 種類の印刷方法の長所 と短所について説明します。

Axis プリントサーバはファイルサーバにログインし、プリン トジョブに対するプリントキューを繰り返しポーリングしま す。このように、Axis プリントサーバは NetWare プリントサー バ、つまり PSERVER が動作するワークステーションをエミュ レートします。このモードは、ネットワークに負荷をかけな い高速印刷を提供します。PSERVER モードの Axis プリント サーバは、それぞれ NetWare ライセンスを一つ必要とします。

長所 ● 高速。一般的には、1 M バイト / 秒まで。

短所 • バインダリモードでは、ファイルサーバとの接続のため に個々の Axis プリントサーバに対して NetWare ユーザラ イセンスを一つ必要とします。

# <u>リモートプリンタ</u> モード

Axis プリントサーバは、ファイルサーバで動作する PSERVER プログラム (NLM) や PSERVER.EXE が動作する専用のワーク ステーションに接続します。そして、ファイルサーバから自 動的にプリントジョブを受け取ります。このように、Axis プ リントサーバは、NetWare リモートプリンタソフトウェア RPRINTER、あるいは、NPRINTER が動作するワークステーショ ンをエミュレートします。このモードは、NetWare ユーザライ センスの数が大きな問題となるような、小さなネットワーク に対してのみ推奨されます。

長所 ● NetWare ユーザライセンスを必要としない。

短所 低速。一般的には、NLM の場合で 20 ~ 70K バイト / 秒。

ネットワークの負荷が高くなる。

# 第6章 セットアップ - OS/2

この章では、OS/2環境で印刷を行うための、Axisプリントサーバの設定方法について説明します。

インストール方法 プロトコル

参照

AXIS Print Utility for OS/2

NetBEUI/NetBIOS

45 ページ「AXIS Print Utility for OS/2 を利用する」

Axis プリントサーバをマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第4章 セットアップ - Windows」

39 ページ「第5章 セットアップ - NetWare」

49 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」

55ページ「第8章 セットアップ - UNIX」

# AXIS Print Utility for OS/2 を利用する

まず、AXIS Online CDに含まれているAXIS Print Utility for OS/2 の自己解凍プログラムを、フロッピーディスクにコピーしてください。プログラムは、AXIS Online CD の以下のディレクトリに収録されています(CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)。

D:\footnote{\text{S}}\text{oftware}\footnote{\text{axpu}}\footnote{\text{axpu}}\footnote{\text{axpu}}\footnote{\text{b}}\footnote{\text{capu}}\footnote{\t

続いて、フロッピーディスク上にコピーした axpu116.exe を実行します。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足資料」を参照してください。

Axis プリントサーバのデフォルトの名前やその他のパラメータを変更する場合は、標準的な Web ブラウザや、お使いのネットワーク上に接続されている Windows プラットフォームから AXIS NetPilot を利用してください。詳しくは、69 ページ「第10章 設定と管理」を参照してください。

ネットワーク印刷を行うには、それぞれの PC 上に AXIS Print Utility for OS/2 をインストールする必要があります。

# AXIS Print Utility for OS/2 について

AXIS Print Utility for OS/2 は、OS/2 環境でネットワーク印刷を行うためのアプリケーションです。 AXIS Print Utility for OS/2 は、以下のことを可能にします。

- Axis プリントサーバのポートを OS/2 プリンタポートとしてインストールし、維持する。
- Axis プリントサーバのポートに送られたプリントジョブをキャプチャし、監視する。

プリントジョブは、ローカルハードディスクにあるスプールディレクトリを経由して送られます。お使いの AXIS Print Utility for OS/2 のプリンタポートのステータスを監視し、プリントジョブの終了や問題の状態を知らせるためにポップアップ通知メッセージを生成することもできます。

#### 注意:

□ AXIS Print Utility for OS/2 をインストール(使用) するには、NetBEUI プロトコルがアクティブになっている必要があります。アクティブになっていない場合は、MPTS/LAPS (LAN Server)、SETUP (LAN Manager)を使用してアクティブにします。

# Axis プリントサーバ をインストールする

- 1. AXIS Print Utility for OS/2 を動作させ、[Install] をクリックして Axis プリントサーバをインストールします。ポート名は、名前 .LP1、名前 .LP2、または 名前 .CM1 のようにリストに表示されます。名前は、AX にプリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字を続けたものです。たとえば、ポート名は「AX5556A3.LP1」のようになります。
- 2. インストールしたいポートを選択し、[Install] をクリックします。

この手順を、Axis プリントサーバを利用するそれぞれの PC に対して繰り返します。

#### 注意:

Axisプリントサーバを利用して印刷するには、AXIS Print Utility for OS/2 が常に動作している必要があります。

# Axis プリントサーバを OS/2 環境に統合する

# プリントキューを 作成する

- 1. [テンプレート] フォルダをダブルクリックし、マウスの 右ボタンを押しながら [プリンタ] アイコンをワークプ レースシェル (または、フォルダの中に) ドラッグします。
  - 2. 名前のフィールドに、任意の名前を入力します。
  - 3. 出力ポートリストから、\PIPE\ *名前*.LP1、\PIPE\ *名前*.LP2 を選択し、省略時プリンター・ドライバーリストからお使いのプリンタに適したプリンタドライバを選択します。
  - 4. [OK] をクリックし、プリンタの定義を承認します。

### プリントキューを 共用する

プリントキューを他のコンピュータ (クライアントやサーバ) からアクセスできるようにするには、そのプリントキューを 共用リソースにする必要があります。OS/2 ウィンドウを開き、以下のコマンドを発行します。

#### NET SHARE キュー名/PRINT

ここで、キュー名は、上で作成したキューの名前です。

OS/2 Warp の IBM ピアサービスを利用してプリンタリソース を共有するには、以下の手順にしたがってください。

- 1. プリンタオブジェクトの上でマウスの右ボタンをクリックします。
- 2. [共用]、続けて、[共用の開始]を選択します。ダイアロ グボックスで、記述を入力します。
- 3. [LAN ワークステーション始動時に共用を開始] のチェックボックスを選択します。
- 4. [OK] をクリックします。

LAN Server 4.0 を利用してプリンタリソースを共用するには、 以下の手順にしたがってください。

- 1. 「LAN サーバ管理」を開きます。
- 2. お使いのドメイン、続けて、[リソース定義]を開きます。
- 3. テンプレートからプリンタをドラッグ&ドロップします。
- 4. 別名を入力し、サーバー名および上で作成したスプーラー 待ち行列 (プリントキュー) 名を選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

これで、セットアップは完了し、Axis プリントサーバを利用 して印刷できるようになりました。

# 第 7 章 セットアップ - Macintosh

この章では、AppleTalk を利用して Macintosh 環境で印刷を行う手順について説明します。

Axis プリントサーバをマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows」

45 ページ「第6章 セットアップ - OS/21

39 ページ「第5章 セットアップ - NetWare」

55ページ「第8章 セットアップ - UNIX」

## セレクタを利用したインストール

# 基本設定

AppleTalk 環境での基本設定は、セレクタから使用するプリンタを選択して行います。

Axis プリントサーバのデフォルト名の変更、また config ファイルを編集して他のデフォルトのパラメータを変更することができます。Macintosh から Axis プリントサーバの config ファイルにアクセスするには、以下の方法があります。

- Java を利用できる Web ブラウザ
- FTP アプリケーション(MacTCP、Fetch、Anarchie など)

これらの方法を利用する場合は、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てておく必要があります。詳しくは、52ページ「パラメータを 設定する」を参照してください。

## プリンタの選択

# プリンタを選択する

プリンタを選択する方法は、お使いの LaserWriter プリンタド ライバのバージョンによって異なります。

- LaserWriter 7.x ドライバは、標準的な PostScript ドライバを 利用するものと想定し、プリンタ固有の機能を利用する ことはできません。
- The LaserWriter 8.x ドライバは、プリンタの情報を記述し た PPD を利用します。よって、プリンタが持つ機能を制 御することができます。

## LaserWriter 7.x プリンタドライバ

以下の手順にしたがって、プリンタを選択してください。

- 1. アップルメニューからセレクタを選択します。
- 2. LaserWriter アイコンをクリックします。
- 3. お使いのネットワークに複数のゾーンがある場合、利用す るゾーンをクリックします。ゾーンがない場合は、ゾーン のボックスは現れません。
- 4. 利用するプリンタをクリックして選択します。Axis プリ ントサーバのプリンタ名は、デフォルトで AXISXXXXXX ポート、のように表示されます。 xxxxxx は、Axis プリン トサーバのシリアル番号の下6桁の英数字、ポートに は LPT1、LPT2、または COM1 が表示されます。たとえば、 「AXIS5556A3 LPT1」のようになります。
- 5. クローズボックスをクリックします。設定が完了し、セレ クタが閉じられます。

上記の手順を、Axis プリントサーバを利用するネットワーク 上の Macintosh コンピュータでそれぞれ行います。

# LaserWriter 8.x プリンタドライバ

以下の手順にしたがって、プリンタを選択してください。

- 1. アップルメニューからセレクタを選択します。
- 2. LaserWriter 8.x アイコンをクリックします。
- お使いのネットワークに複数のゾーンがある場合、利用す るゾーンをクリックします。ゾーンがない場合は、ゾーン のボックスは現れません。

- 4. 利用するプリンタをクリックして選択します。Axis プリントサーバのプリンタ名は、デフォルトで AXISXXXXXX ポート名、のように表示されます。XXXXXX は、Axis プリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字、ポートには LPT1、LPT2、または COM1 が表示されます。たとえば、「AXIS5556A3 LPT1」のようになります。
- 5. [作成]をクリックします(ボタンの名前は、LaserWriter ドライバのバージョンによって異なります)。選択したプリンタが双方向印刷に対応し、さらに適切な PPD ファイルが利用できる場合は、インストール作業は自動的に行われるため、手順7へ進むことができます。それ以外の場合は、手順6で説明されているように、PPDファイルを手動で選択する必要があります。
- 6. お使いのプリンタに合った PPD ファイルを選択し、[選択] をクリックします。お使いのプリンタが PPD ファイルの リストにない場合は、お使いのプリンタの販売元にお問い 合わせください。プリンタ固有の機能が必要ない場合は、一般設定を使用してください。
- 7. [OK] をクリックし、クローズボックスをクリックします。 設定が完了し、セレクタが閉じられます。

上記の手順を、Axis プリントサーバを利用するネットワーク 上の Macintosh コンピュータでそれぞれ行います

# 双方向サポート

Axis プリントサーバは、プリンタドライバがプリンタと直接 通信できるようにします。これにより、プリントジョブの制 御が容易になります。たとえば、プリンタに内蔵されていな いフォントの自動ダウンロードが可能になります。

古いプリンタやMacintoshコンピュータとの互換性も提供されます。つまり、接続されたプリンタが双方向通信をサポートしない場合、Axis プリントサーバは、Macintosh からのプリンタに関する問い合わせに対して適切な応答を生成することができます。

# セットアップの確認

選択したプリンタとの通信を確認するには、Macintosh コンピュータから単純に何かドキュメントを印刷してみてください。印刷テストが思い通りのものである場合は、基本的なインストールは完了したと考えることができます。これで、Axisプリントサーバは、プリントサーバとして利用する準備ができました。

## ASCII、TBCP、 および BCP

ASCII (American Standard Code for Information Interchange) 12. インターネット上のコンピュータで最も一般的なテキスト ファイルのためのフォーマットです。ASCII ファイルでは、英 数字や特殊記号は7ビットで表されます。128 文字が割り当て られています。

TBCP (Tagged Binary Communication Protocol) & BCP (Binary Communication Protocol) は、プリンタのシリアルポートとパ ラレルポートで利用される通信プロトコルです。これらのプ ロトコルでは、ファイル中、通信やプリントジョブの制御の ために8ビットバイナリデータを利用することができます。 TBCP は、ある種のプリンタ、たとえば HP 社のプリンタでバ イナリデータストリームを利用して印刷するために必要とさ れています。

## パラメータを 設定する

AppleTalk では、Axis プリントサーバのパラメータのいくつか を変更することができます。

- 使用するバイナリ転送プロトコルのタイプを選択する (BINARY TYPE 1、BINARY TYPE 2、BINARY TYPE 3 パラ メータ)
- AppleTalk のプリンタタイプを指定する (ATYPE 1、ATYPE 2、ATYPE 3 パラメータ)
- IPアドレスを設定する(INT ADDR パラメータ)

お使いの Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てると、 標準的な Web ブラウザや FTP を利用してプリントサーバのす べてのパラメータにアクセスすることができるようになりま す。詳しくは、69ページ「第10章 設定と管理」を参照して ください。

以下の例では、AppleTalk で Axis プリントサーバのパラメータ を設定する方法を説明します。

#### 重要: お使いのAxisプリントサーバを設定する際、この例のパラメー タ値をそのまま利用しないでください。お使いのプリンタや ネットワーク設定に対して適切な値を選択する必要がありま す。

以下の手順にしたがってください。

- 1. セレクタを開きます。
- 2. ネットワークプリンタドライバを選択します。LaserWriter なら何でも構いません。
- 3. 名前が「 CFG」で終わるプリンタポートを選択します。

- 4. セレクタを閉じます。
- 5. テキストエディタ、たとえば SimpleText を開きます。

**6.** 設定したいパラメータを含むテキストファイルを作成します。

BINARY TYPE 1. :BCP

INT ADDR. :192.168.70.183

ATYPE 1. :EPSONLO2

設定したくないパラメータは、テキストファイルに入れる 必要はありません。個々のパラメータの有効値について は、105ページ「第14章 パラメータリスト」を参照して ください。

- **7.** テキストファイルを印刷します。設定は、プリントサーバ内に保存されます。
- 8. セレクタを開き、ドキュメントを印刷するために利用する プリンタポートを選択します。
- 9. セレクタを閉じます。

注意: □ \_CFGポートは、Axisプリントサーバの電源を入れてから1時間後に見 えなくなります。再び見えるようにする場合は、Axis プリントサー バを再起動する必要があります。

# 第8章 セットアップ - UNIX

## UNIX 環境でのインストール

15ページ「IP アドレスの割り当て」の手順にしたがって TCP/IP の基本設定を完了すれば、LRP、FTP、ReverseTelnet を利用した印刷が可能になります。

まずは、Axis プリントサーバをホストのスプーラに統合する 必要があります。この作業には、axintall を利用することができます。このユーティリティソフトウェアはAxisプリントサーバに常駐し、FTP を利用してホストにスクリプトをダウンロードするので、ディスクを必要としません。axinstall スクリプトは AXIS Online CD に含まれています。

この作業を終了すると、Axis プリントサーバはまるでホストプリンタスプーラに直接接続されているかのように見えるようになります。

マルチプロトコル環境で Axis プリントサーバを利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows I

45 ページ「第6章 セットアップ - OS/2」

39 ページ「第5章 セットアップ - NetWare」

49 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」

**ホストのプリンタ** Axis プリントサーバをホストのプリンタスプーラに統合する スプーラへの には、中にある自動インストールスクリプト axinstall を利用 することができます。以下の手順にしたがい、FTP を利用して お使いのホストにこのスクリプトを転送してください。

> 1. 以下のコマンドを利用して Axis プリントサーバにログイ ンします。

ftp ホスト名 または ftp IP アドレス

- 2. ユーザ ID として root、パスワードとして pass を入力します。
- 3. 以下のコマンドを利用してスクリプトを転送します。 get axinstall

お使いの FTP のバージョンにより、quit、bye、exit コマンド を利用してログアウトします。

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 5600+ FTP Print Server v6.30 May 17 2002
ready.
Name (npsserver:thomas): root
331 User name ok, need password
                      (見えません)
Password: pass
230 User logged in
ftp> get axinstall
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for axinstall
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
local: axinstall remote: axinstall
61187 bytes received in 14 seconds (4.2 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
```

axinstall スクリプトを転送するための典型的な FTP セッション

これで、お使いのホストに axinstall スクリプトが転送されました。以下のコマンドを利用してスクリプトを実行します。

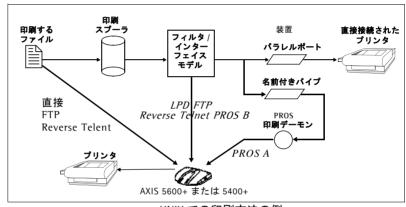
sh axinstall

手順が示され、インストール作業がガイドされます。インストールの間に、印刷方法を選択するよう尋ねられます。LPDを選択することを推奨します。印刷方法の選択に関してガイドが必要な場合は、以降のページを参照してください。また、axinstall スクリプトを利用した UNIX 環境での設定の詳細は、AXIS Online CD に含まれている「補足資料」を参照してください。

# TCP/IP ネットワークにおける印刷方法

Axis プリントサーバは、TCP/IP 環境で利用できるいくつかの 印刷方法に対応しています。 axinstall は、特定の UNIX システムに合った印刷方法を提示しますが、印刷の用途に合った別の方法を選択することもできます。

以下の図には、UNIXでの印刷方法で利用されるデータの流れが示されています。それぞれの方法には、長所と短所があります。以下の情報をもとに、どの方法を利用するか決定してください。



UNIX での印刷方法の例

LPD (Line Printer Daemon) は、ホスト間でプリントジョブを 転送するためのプロトコルです。ほとんどの UNIX システムで 推奨される方法ですが、System V 系 UNIX の中には LPD に対 応していないものもあります。

#### 長所:

セットアップが簡単で、System V 系 UNIX では Axis プリントサーバをリモートキューとしてインストールし、BSD 系 UNIX では、rm、rp フィールドを利用して /etc/printcap にリモートプリンタを追加します。

#### 短所:

スプーラ機能や、printcap、1pr オプション (BSD 系UNIX)、たとえば、複数コピー等が利用できません。

FTP FTP (File Transfer Protocol) は、ホスト間でファイルを転送するために利用されます。

#### 長所:

ホスト上の業界標準ネットワークソフトウェア(ftp コマンド)を利用できます。

#### 短所:

プリンタのステータスログを取ることができません。BSD 系 UNIX の場合は、他の入力フィルタ、出力フィルタと共存できないか、入力または出力フィルタを両方とも利用できません。System V 系 UNIX では、フィルタもインターフェースプログラムも利用できません。

PROS Axis で開発されたプロトコルです。名前付きパイプ(PROS A)、フィルタ (PROS B) の二種類があります。

#### PROS A PROS A - 長所:

Axis プリントサーバは、システムにとってはデバイスとして見えます。これにより、フィルタやモデルオプションが利用できるようになります。アカウント統計やステータスログの取得機能が提供されます。双方向印刷に対応しています。プリンタからのリードバック情報は、ログファイル中で見ることができます。

#### PROS A - 短所:

PROS A ドライバを生成するには、C コンパイラが必要になります。

#### PROS B PROS B - 長所:

アカウント統計やステータスログの取得機能が提供されます。双方向印刷に対応しています。プリンタからのリードバック情報は、ログファイル中で見ることができます。

#### PROS B - 短所:

PROS B ドライバを生成するには、C コンパイラが必要になります。BSD 系 UNIX の場合は、他の入力フィルタ、出力フィルタと共存できないか、入力および出力フィルタを両方とも利用できません。System V 系 UNIX では、インターフェイスプログラムは利用できません。

#### Reverse Telnet

ターミナルサーバのプリンタポート経由での印刷に使用しま す。すでに Reverse Telnet ドライバがインストールされている 場合のみ、推奨される方法です。

#### 長所:

Reverse Telnet ドライバがインストールされていれば、セットアップは簡単です。

#### 短所:

ステータスログを取ることができません。ドライバは Axis プリントサーバには付属していません。 既存のドライバは 低速の場合があります。

#### 他の UNIX システム

ほとんどの UNIX システムは、BSD 系か System V 系に似ているため、工夫をすれば、その他の UNIX に対しても解決策を考えることが可能です。

システムが BSD 系 UNIX のソケット型ネットワークサポート を持っている場合は、prosbsd (Axis プリントサーバの bsd ディレクトリ内)を出発点として利用できます。これは、stdin からプリントデータを受け取り、stderr にログファイルを書き込みます。stdout には何も書き込みません。

あるいは、FTP が利用できるかもしれません。出発点としてbsd/ftp\_bsd や sysv/ftp\_sysv を利用するとよいでしょう。

# 第9章 論理プリンタ

Axis プリントサーバは、印刷データを変更する強力な機能を備えています。ご希望の印刷フォーマットを、お使いのプリンタで利用することができます。Axis プリントサーバは、以下の機能に対応しています。

- プリンタに合わせて文字列を変換
- 印刷データの前後に文字列を追加
- 印刷データ内の文字列を置換
- ASCII から PostScript に変換

シェージョン かんりょう

- プリンタがビジーの場合、印刷データを他のプリンタに リダイレクト
- 印刷の問題解決に役立つ 16 進ダンプモード

データへの亦再

論理プリンタは、これらの機能を利用する場合に、プリンタポートに印刷データが送られる前に印刷データを変換するために使用します。印刷データをフィルタリングするよう設定できる論理プリンタは、全部で8つあります。

デフォルトの論理プリンタの設定では、論理プリンタ PR1  $\sim$  PR4 は印刷データの流れに変更を加えません。論理プリンタ PR5  $\sim$  PR8 は、LF 制御文字に CR を付加します。

調理ノリノグ	ナーダへの変更
PR1	変更なし
PR2	変更なし
PR3	変更なし
PR4	変更なし
PR5	LF に CR を付加
PR6	LF に CR を付加
PR7	LF に CR を付加
PR8	LF に CR を付加

それぞれの論理プリンタは、Axis プリントサーバの内部 Web ページから設定することができます。Web ブラウザを起動し、[場所 / アドレス] フィールドにプリントサーバの IP アドレス

を入力してください。[admin] ボタンをクリックし、[**Logical Printer Settings**] ボタンをクリックしてください。

論理プリンタは、configファイルを編集して設定することもできます。

#### 注意:

- □ 以下の例は、標準的な Web ブラウザを利用した設定方法について説明します。config ファイルを直接編集する場合は、単純に対応するパラメータの値を変更してください。
- □ 以下の例は、論理プリンタを設定する参考としてご覧ください。実際には、お使いのネットワークでの必要性に応じて論理プリンタを設定する必要があります。
- □ 利用可能なパラメータについては、105ページ「第 14章 パラメータ リスト」を参照してください。
- □ 利用可能な管理ツールについては、69 ページ「第 10 章 設定と管理」 を参照してください。

# <u>プリントジョブの</u> <u>前後に文字列を</u> 付加する

この機能は、それぞれのプリントジョブの前後にプリンタの 制御コマンドを送る方法を提供します。各論理プリンタに対 し、別々に指定することができます。

すべての文字列は、16 進のバイト値として入力します。プリントジョブの前後に文字列を付加する場合は、次の「文字列の置換」の2番目の例を参照してください。

## 文字列の置換

文字列の置換機能は、印刷データ上で検索・置換操作を実行します。主な用途は、プリンタの制御コマンドを置換することです。それぞれの論理プリンタに対して、最大 20 組までの文字列置換を指定することができます。

すべての文字列は 16 進のバイト値として入力し、それぞれの 検索・置換文字列の前にカウントバイトを置く必要がありま す。

文字列置換パラメータ (PRx\_STR) を編集して、コマンド文字 列を置換します。

**例:** 論理プリンタ 1 に対して、UNIX の改行(16 進 0A) を ASCII の改行(16 進 0D 0A) で置き換えると仮定します。

以下の手順にしたがって、コマンド文字列を置換してください。

- Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
   [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings]
   をクリックします。
- 2. 「PR1」タブを選択します。

3. [String Substitutions] パラメータに、**01 0A 02 0D 0A** を入力します。

#### 16 進コード 説明

01	検索する文字列の長さ
OA	検索する文字列
02	置換する文字列の長さ
OD OA	置換する文字列

4. [OK] ボタンをクリックします。

これは、論理プリンタ (PR5  $\sim$  PR8) に対するデフォルト設定です。

- **例**: デフォルトのエミュレーションモードがPR201Hであるようなキャノン製のLIPSプリンタに対し、UNIXからシフトJIS漢字コードを含むテキストファイルを印刷すると仮定します。PR201Hモードでは、シフトJIS、EUC、JISのどの漢字コードを送っても、そのままでは漢字を出力することはできません。そこで、プリントジョブの前にPR201HモードをLIPSに切り替えるコマンド(16 進 1B 25 30)を送り、印刷中はUNIXの改行をDOSの改行で置換し(上の例を参照)、プリントジョブの後に改ページコマンド(16 進 0C)とモードをPR201Hに戻すコマンド(16 進 1B 25 31)を送るような設定を論理プリンタ1に対して行うには、以下の手順にしたがってください。
  - 1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。 [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings] をクリックします。
  - 2. 「PR1] タブを選択します。
  - 3. [String Before Print Job] パラメータに、文字列 **1B 25 40 1B 25 30** を入力します。
  - 4. [String Substitutions] パラメータに、文字列 **01 0A 02 0D 0A** を入力します。
  - 5. [String After Print Job] パラメータに、文字列 **01 1B 25 31** を入力します。
  - 6. [OK] ボタンをクリックします。

注意: □ 文字列の置換を多用すると、Axisプリントサーバのスループットが低下します。

# ASCII から Postscript への変換

Axis プリントサーバの論理プリンタは、ASCII 形式の印刷データを PostScript 形式に変換することができます (ただし、日本語には対応していません)。この機能により、PostScript に対応していないホストから PostScript プリンタに印刷を実行することができます。変換は、ASCII データを PostScript に変換するフィルタをアクティブにすることにより選択されます。このフィルタは、それぞれの論理プリンタに対して別々に実行することができます。

印刷言語変換パラメータ (PRx\_FILT) を設定し、ご希望のフィルタをアクティブにしてください。

**例**: 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 2 に対して ASCII の印刷データを PostScript に変換してください。

- Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
   [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings]
   ボタンをクリックします。
- 2. [PR2] タブを選択します。
- 3. [Printer Language Translation] パラメータを、POSTSCR に設定します。
- 4. 「**OK**〕ボタンをクリックします。

パラメータ値 AUTO\_PS を選択した場合、それぞれのプリント ジョブに対する印刷データが検索され、ASCII データがあった 場合にはPostScriptへの変換を実行します。印刷データがASCII か PostScript か定かでない場合に推奨されるパラメータです。

# PostScript の設定

論理プリンタを PostScript 変換に対して設定した場合は、以下の項目を指定してください。

- ページサイズ
- ページの向き
- ページのフォーマット
- 使用するフォント

デフォルトのページサイズは A4、ページの向きは縦置き、ページのフォーマットは以下のようになります。

ページフォーマット	デフォルト値	
1ページ当たりの行数	66	
1 行当たりの文字数	0	0= 行の折り返しは無効
1 インチ当たりの文字数	10.0	
1 インチ当たりの行数	60	60 = 1 インチ当たり 60 行
左マージン	30	30 = 3.0  mm
上マージン	50	50 = 5.0  mm

PostScript フォントは、プリンタにインストールされている欧 文フォントであればどれを使用しても構いません。フォント が指定されていない場合は、Courier が使用されます。

- **例**: 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 2 に対して PostScript パラメータを設定してください。
  - Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
     [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings]
     ボタンをクリックします。
  - 2. [PR2] タブを選択します。
  - 3. [Printer language Translation] パラメータを、POSTSCR に 設定します。
  - 4. [PostScript Page Size] パラメータを、LETTER に設定します。
  - 5. [PostScript Page Orientation] パラメータを、LANDS に設定します。
  - 6. [PostScript Page Format] パラメータに、48 0 120 60 30 50 を入力します。

#### 16 進コード 説明

48	1ページ当たり 48 行
0	行の折り返しは無効
120	1 インチ当たり 12 文字
60	1 インチ当たり 6 行
30	左マージンは 3mm
50	上マージンは 5mm

- 7. [PostScript Font] パラメータに、Helvetica を入力します。
- 8. [OK] ボタンをクリックします。

#### プリンタがビジーの <del>時にプリントジョブ</del> をリダイレクトする

すでにビジー状態になっているプリンタが印刷データを受け 取った場合、ホストは待機する必要があります。このような 場合、Axisプリントサーバは目的のプリンタがビジーの時に、 論理プリンタを利用して別の論理プリンタにプリントジョブ をリダイレクトすることができます。2 番目のプリンタもビ ジーの場合は、ホストは目的のプリンタがレディー状態にな るまで待機する必要があります。

#### 例: 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 1 に割り当てたプリ ンタがビジーの時に、論理プリンタ 1 のプリントジョブを論 理プリンタ3にリダイレクトしてください。

- 1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。 [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings] ボタンをクリックしてください。
- 2. [PR1] タブを選択します。
- 「Physical Port] パラメータを、LPT1 に設定します。 3.
- [Secondary Printer] パラメータを、PR3 に設定します。 4.
- 5. 「Wait On Busy」パラメータを、NO に設定します。
- 6. 「OK 」ボタンをクリックします。
- 7. 「PR3」 タブを選択します。
- 8. [Physical Port] パラメータを、LPT2 に設定します。
- 9. 「OK 」ボタンをクリックします。

#### 注意:

- □ 論理プリンタのリダイレクトはネストできません。上の例で、論理 プリンタ 3 が別の論理プリンタにリダイレクトされていても、論理 プリンタ 3 がビジーの場合はプリントジョブはそれ以上リダイレク トされません。
- □ 両方のプリンタがビジーの場合は、プリントジョブは現在アクティ ブなプリントジョブを最初に終えたプリンタに印刷されます。

#### 情報のリードバック

Axis プリントサーバは、双方向印刷に対応しています。プリ ンタからの情報は、リードバックポートパラメータ (PRx IN) がデフォルト値の AUTO に設定されている場合、リードバック されます。ただし、プリンタも双方向印刷に対応している必 要があります。

双方向印刷について詳しくは、お使いのプリンタに付属のマ ニュアルを参照してください。

# **例:** 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 1 に対する双方向通信を無効にしてください。

- 1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。 [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings] ボタンをクリックします。
- 2. 「PR1] タブを選択します。
- 3. 「Read Back Port」パラメータを、NONE に設定します。
- 4. 「OK」ボタンをクリックします。

#### <u>16 進ダンプモード</u> <u>を利用して</u> デバッグする

16 進ダンプモードがアクティブになっている場合は、印刷データは文字ではなく、16 進のバイト値として印刷されます。 プリンタの制御コマンドも 16 進の値として印刷されます。 どのような制御文字や印刷文字がプリンタに送られようとしているかを調査することを可能にし、解決の困難な印刷に関する問題のデバッグ機能として利用できます。

## **例:** 以下の手順にしたがって、論理プリンタ3に対して16進ダンプモードをアクティブにしてください。

- Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
   [admin] ボタンをクリックし、[Logical Printer Settings]
   ボタンをクリックします。
- 2. 「PR3 ] タブを選択します。
- 3. [Hex Dump Mode Enabled] オプションを、YES に設定します。
- 4. 「OK」ボタンをクリックします。

## 注意:s □ 16 進ダンプモードのページ長は、PostScript ページフォーマットパラメータの 1 ページ当たりの行数によって決定されます。

### 第 10 章 設定と管理

Axis プリントサーバが提供する設定・管理ツールを利用すると、以下のことが行えます。

- config ファイルを編集し、プリントサーバのパラメータを 変更する
- プリントジョブに関する拡張情報を取得する
- プリンタポートのステータスを取得する
- プリンタを監視する

プロトコル (05)

- Axis プリントサーバを工場出荷時の状態に戻す
- Axisプリントサーバのファームウェアをアップグレードする(詳しくは、99ページ「第12章 ソフトウェアの更新」を参照してください)

#### 設定の概要

Axis プリントサーバを設定・管理する方法は、ネットワークで利用しているオペレーティングシステムとプロトコルによって異なります。以下の表に、Axis プリントサーバが対応するそれぞれの環境において、設定・管理で使用する方法について示します。

設定 · 管理方法

) I   I   (03)	<b>议足:官垤刀</b> 丛
TCP/IP (UNIX, Windows 95/98/NT/2000/Me)	70 ページ「Web ブラウザを利用する」 82 ページ「FTP を利用する」 85 ページ「Telnet を利用する」 88 ページ「SNMP を利用する」
NetBIOS/NetBEUI (Windows 95, 98, Me, NT, OS/2)	75 ページ「AXIS NetPilot を利用する」
IPX/SPX (NetWare)	75 ページ「AXIS NetPilot を利用する」 90 ページ「ノベル社のユーティリティ を利用する」
AppleTalk (MacOS)	70 ページ「Web ブラウザを利用する」

#### Web ブラウザを利用する

Axis プリントサーバに有効な IP アドレスを設定すれば、Java が利用できる Web ブラウザから自由に Axis プリントサーバの 内部 Web ページにアクセスできるようになります。IP アドレ スの設定については、15ページ「IP アドレスの割り当て」を 参照してください。

Axisプリントサーバの内部Webページは、ユーザモード(User) と管理者モード (admin) の二種類に分かれています。

User ユーザモードでは、パラメータの細かい設定を行うことはで きません。ユーザモードは、管理者権限を持たないユーザが、 プリントジョブやプリンタのプロパティを内部 Web ページで 確認するためのページです。プリントサーバの設定を変更す る場合は、管理者モードに入る必要があります。

管理者モードでは、プリントサーバのすべてのパラメータに Admin アクセスし、自由に設定を変更することができます。管理者 モードはネットワーク管理者のためのページで、権限のない ユーザによるプリントサーバのパラメータ変更を防ぐため に、パスワードで保護されています。

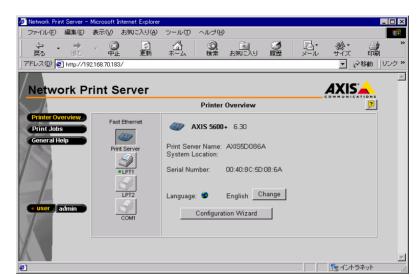
注意: □ config ファイル内の ROOT\_PWD パラメータの設定が、デフォルトパス ワードの pass から変更されていない場合、管理者モードへのアク セスに対するパスワード保護は実行されません。

#### 内部 Web ページに アクセスする

以下の手順にしたがって、Axisプリントサーバの内部Webペー ジにアクセスしてください。

- 1. Web ブラウザを起動します。
- 2. [場所 / アドレス] フィールドに、Axis プリントサーバの ホスト名またはIPアドレスを入力します。





3. ユーザモードのホームページが開きます。

Axis プリントサーバユーザモードのホームページ

4. 「admin」ボタンをクリックし、管理者モードに入ります。 管理者用のパスワードがデフォルトのpassに設定されて いる場合は、ユーザ ID に root を入力してください。

ユーザモードでは、以下の機能が利用できます。また、イン ターネットをご利用の場合は、Axis のロゴをクリックすると Axis のホームページに移動します。

Printer Overview

[Printer Overview] ページには、Axis プリントサーバの一般的 な設定が表示されます。定義されている場合は、プリントサー バの名前や位置が表示されます。

設定ウィザードを実行して Axis プリントサーバの基本的な設 定を行うことができます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリン タの概要が表示されます。接続されているプリンタのステー タスや、対応する機能が表示されます。表示される情報は、プ リンタの種類によって異なります。このページからテスト ページを印刷することもできます。

Print Jobs

[Print Jobs] ページでは、印刷されたバイト数、プリントジョ ブを実行したユーザ情報などを含む、現在のプリントジョブ のステータスが表示されます。また、ユーザ、プロトコル、 ファイルサイズなどを含むプリントジョブを、最新のログか ら順番に20個まで表示します。接続されているプリンタの利 用時間をもとに、プリンタの利用方法をコントロールするこ とが可能です。

General Help

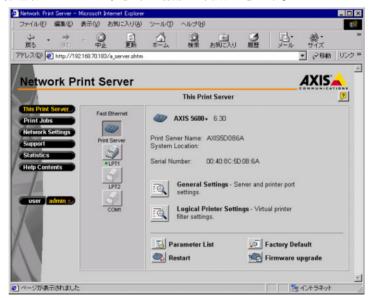
[General Help] ページでは、Axis プリントサーバの基本的な 情報がされます。お使いの PC にプリンタをインストールする ためのツールについても、簡単に説明しています。

ウィザード

Configuration Wizard を利用すれば、画面の手順にしたがって デフォルトの設定を確認しながらパラメータを変更できま す。ウィザードを完了すれば、プリントサーバはプリンタや ネットワークに合わせて正しく設定されます。

#### 管理者モードの 機能

管理者モードでは、以下の機能が利用できます。



Axis プリントサーバ管理者モードのホームページ

This Print Server

「This Print Server」ページでは、プリントサーバ名、ノードア ドレス、パスワードなどを含む、Axis プリントサーバの一般 的なパラメータ設定の確認および変更が行えます。また、8つ の論理プリンタの設定も行えます。Axis プリントサーバの再 起動、および工場出荷時のデフォルト設定へのリセットなど の管理作業も行えます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリン タの概要が表示されます。このページでは、接続されている プリンタのステータスや機能が表示されます。表示される情 報は、プリンタの種類によって異なります。このページから テストページを印刷することもできます。

Print Jobs

[Print Jobs] ページでは、印刷されたバイト数、プリントジョ ブを実行したユーザ情報などを含む、現在のプリントジョブ のステータスが表示されます。また、ユーザ、プロトコル、 ファイルサイズなどを含むプリントジョブを、最新のログか ら順番に20個まで表示します。接続されているプリンタの利 用時間をもとに、プリンタの利用方法をコントロールするこ とが可能です。

Network Settings

[Network Settings] ページでは、Axis プリントサーバとのネッ トワークトラフィックをコントロールするすべてのパラメー タを設定することができます。対応するネットワークプロト コルの有効・無効の切り替えや、パラメータ設定の調整が行 えます。

#### 警告!

□ ネットワークに関連する設定は、ネットワーク管理者が行うように してください。

[Support] ページでは、インストールおよび印刷に関する問題 解決に役立つ情報を提供します。問題が凍やかに解決しない 場合は、サーバレポートを利用してください。サーバレポー トには、Axis プリントサーバの設定、接続されているプリン タ、および現在のネットワーク設定などの情報が含まれてお り、問題解決に役立ちます。

[Statistics] ページでは、Axis プリントサーバとのネットワー クトラフィックに関する情報、また Axis プリントサーバに接 続されているサーバや関連するサービスについての情報が表 示されます。

Help Contents

[Help Contents] ページでは、Axis プリントサーバの内部 Web ページから行える設定・管理の概要について表示します。様々 な環境で Axis プリントサーバをインストールする手順や、 ファームウェアのアップグレードの手順について説明しま す。「Index」ボタンをクリックすると、オンラインヘルプへの 項目ごとのリンクが表示されます。

#### パラメータリスト ボタン

「Parameter List ] ボタンをクリックすると、プリントサーバの 現在のパラメータ設定をすべて表示します。

再起動ボタン

[Restart] ボタンをクリックすると、プリントサーバを再起動します。

ファクトリ デフォルトボタン [Factory Default] ボタンをクリックすると、プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。ただし、ノードアドレス(NODE\_ADDR)、IP アドレス(IP\_ADDR)、DHCPの有効・無効(DHCP\_ENABLE)を切り換えるパラメータは、リセットされません。

ファームウェア アップグレード ボタン

この機能は、日本では対応していません。

#### AXIS NetPilot を利用する

AXIS NetPilot は、IPX/SPX または NetBIOS/NetBEUI プロトコル 経由の通信をサポートするネットワーク上で、Axis プリント サーバを設定するためのツールです。

AXIS NetPilot を利用して、以下のことが行えます。

- Axis プリントサーバのパラメータ値を変更する
- ネットワーク環境の設定を変更する
- ネットワーク上でプリンタを監視する
- 管理を簡素化するためにプリントサーバの論理的なグ ループを作成する
- Axis プリントサーバをアップグレードする

#### AXIS NetPilot を 起動する

「スタート」メニューから、「AXIS ユーティリティ(または、 インストールディレクトリとして指定した名前)] - [NetPilot] - 「AXIS NetPilot を選択し、AXIS NetPilot を起動します。



AXIS NetPilot のメインウィンドウ

#### パラメータ値を 変更する

AXIS NetPilotには、パラメータ値を変更するための便利なツー ルが二つあります。

- プロパティページ: config ファイルの編集経験があまりな い方で、視覚的に分かりやすいインターフェイスを必要と する場合は、プロパティページを利用してください。
- パラメータリストエディタ: config ファイルの編集に慣れ ている方は、素早く、効率的な編集が可能なパラメータリ ストエディタを利用してください。

#### プロパティページ

プロパティページを利用すると、パラメータの確認および変 更を簡単に行うことができます。プロパティページは、お使 いの環境にとって適切なタブのセットで構成されます。個々 のパラメータは、適切なボックスを選択して編集することが できます。

以下の手順にしたがって、任意のプロパティページの編集を 行ってください。

- 1. 「設定済プリントサーバ] フォルダから設定する Axis プリ ントサーバを選択します。
- 2. AXIS NetPilot のツールバーから [プロパティ] ボタンをク リックするか、メニューから「セットアップ]-「プロパ ティーを選択します。
- 3. 変更したいパラメータを含むタブを選択します。
- 4. 値を変更します。
- 5. 「適用」をクリックし、変更を保存します(「OK」をクリッ クすると、変更を保存してプロパティウィンドウを閉じま す)。

**パラメータリスト** パラメータリストエディタは、以下のことを可能にするシン **エディタ** プルなエディタです。

- Axis プリントサーバの config ファイルを編集する
- お使いのハードディスクにカスタマイズされた config ファ イルを保存する
- 複数の Axis プリントサーバを同時に設定する
- 1. メニューから「セットアップ」-「パラメータリストの編 集〕を選択します。

- 2. config ファイルの読み込み先として「ファイルから」、ま たは[プリントサーバから]を選択します。
- 3. [読み込み] ボタンをクリックします。config ファイルの 内容がエディタに表示されます。
- 4. config ファイルを編集します。
- 5. 適切な保存先を「ファイルへ」、または「プリントサーバ へ〕から選択します。
- 6. [保存] をクリックし、変更した config ファイルを保存し ます。

#### ネットワーク環境を 変更する

「ネットワーク環境」ウィンドウから、対応する環境のネット ワーク設定を変更することができます。

以下の手順にしたがって、「ネットワーク環境」ウィンドウに アクセスしてください。

- 1. 「設定済プリントサーバ] フォルダから設定する Axis プリ ントサーバを選択します。
- 2. AXIS NetPilot のツールバーから 「ネットワーク」 ボタンを クリックするか、メニューから「セットアップ]-「ネッ トワーク〕を選択します。
- 3. 変更する環境のタブを選択します。

#### プリンタを監視する

プリンタの監視を容易にするため、プリンタの論理的なグ ループを作成することができます。個々のプリンタのステー タスが、AXIS NetPilot のウィンドウに表示されます。



AXIS NetPilot の監視ウィンドウ

#### プリンタグループを 作成する

以下の手順にしたがって、プリンタグループを作成してくだ さい。

- 1. 「監視対象プリンタ」フォルダを選択します。
- 2. AXIS NetPilot のツールバーから「新グループ」ボタンをク リックするか、メニューから [ファイル] - [新しいプリ ンタグループ〕を選択します。
- 3. テキストフィールドにプリンタグループ名を入力し、 「OK をクリックします。

#### プリンタグループに プリンタを追加する

以下の手順にしたがって、プリンタグループにプリンタを追 加しください。

- 1. 「監視対象プリンタ」フォルダに含まれるプリンタグルー プフォルダを選択します。
- 2. AXIS NetPilot のツールバーから「追加」ボタンをクリック するか、メニューから「ファイル] - 「プリンタの追加] を選択します。

3. プリンタの追加ウィンドウが表示されます。グループに追 加するプリンタが接続されているプリントサーバをク リックし、次にプリンタが物理的に接続されているポート を選択します。「OK]をクリックします。

#### プリンタを調べる

以下の手順にしたがって、プリンタを監視します。

- 1. 「監視対象プリンタ〕フォルダに含まれるプリンタグルー プフォルダを選択します。プリンタのステータスが、AXIS NetPilot の右側の領域に表示されます。
- 2. 新しいウィンドウを開いてステータスを表示する場合は、 AXIS NetPilot ツールバーの 「監視」 ボタンをクリックしま す。

#### 論理的に関係のある プリントサーバを グループ化する

AXIS NetPilot は、管理を簡素化するためにプリントサーバの 論理的なグループを作成することができます。インストール されたプリントサーバは「設定済プリントサーバ」フォルダ に表示され、これらのプリントサーバに対するショートカッ トをプリントサーバグループに追加することができます。 ショートカット上で行われた管理操作は、プリントサーバの 機能に影響します。

#### プリントサーバ グループを作成する

以下の手順にしたがって、プリントサーバグループを作成し てください。

- 1. 「AXIS プリントサーバ」フォルダを選択します。
- 2. AXIS NetPilot のツールバーから「新グループ」ボタンをク リックするか、メニューから「ファイル]-「新しいプリ ントサーバグループ〕を選択します。
- 3. テキストフィールドにプリントサーバグループ名を入力 し、「OK」をクリックします。

#### プリントサーバ グループにプリンタ を追加する

以下の手順にしたがって、プリントサーバグループにプリン トサーバを追加しください。

- 1. 「AXIS プリントサーバ] フォルダに含まれるプリントサー バグループフォルダを選択します。
- 2. AXIS NetPilot のツールバーから「追加」ボタンをクリック するか、メニューから[ファイル]-[プリントサーバの 追加〕を選択します。

3. ネットワークプリントサーバの追加ウィンドウが表示さ れます。プリントサーバを選択し、「OK」をクリックしま す。

#### プリントサーバを 調べる

以下の手順にしたがって、プリントサーバを監視します。

- 1. 「AXIS プリントサーバ] フォルダに含まれるプリントサー バグループフォルダを選択します。
- 2. プリントサーバを選択します。

#### プリンタ情報

以下の手順にしたがって、「監視」ウィンドウに表示されてい るプリンタから詳しいプリンタ情報を取得します(情報は接 続されているプリンタによって異なります)。

- 1. 「監視対象プリンタ]フォルダから、利用するプリンタフォ ルダを選択します。
- 2. 利用するプリンタプリンタアイコンをクリックし、メ ニューから [ファイル] - [プリンタ情報] を選択します。



AXIS NetPilot のプリンタ情報ウィンドウ

また、[概要] ウィンドウでも詳しいプリンタ情報を見ることができます (情報の内容は接続されたプリンタによって異なります)。



AXIS NetPilot の概要ウィンドウ

プリントサーバを アップグレードする Axis プリントサーバの製品ソフトウェア (ファームウェア) を アップグレードするために、AXIS NetPilot のファームウェア ウィザードを利用することができます。詳しくは、

**その他** AXIS NetPilot の機能について詳しくは、AXIS NetPilot オンラインヘルプ、または付属の「補足資料」を参照してください。

#### FTP を利用する

Axis プリントサーバに有効な IP アドレスを割り当てれば、FTP (File Transfer Protocol) を利用して Axis プリントサーバのパラ メータ設定を変更することができます。IP アドレスの割り当 てについては、15ページ「IP アドレスの割り当て」を参照し てください。

### config ファイルを 編集する

以下の手順にしたがって、FTP を利用して config ファイルを編 集してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓(MS-DOS プロンプト、コマン ドプロンプト)を開きます。UNIX ではシェルウィンドウ を開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリント サーバにログインしてください。

ftp ホスト名またはftp IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力します(デフォルトでは、 root & pass です)。
- 3. 以下のコマンドを入力して、configファイルをホストに転 送します。

get config

- 4. テキストエディタを利用して、configファイルを編集して ください。
- 5. 以下のコマンドを入力し、Axis プリントサーバに編集し た config ファイルを保存します。

put config CONFIG

#### 注意:

- □ 送り先のファイルは、大文字(CONFIG)で指定してください。大文 字で指定しなかった場合、編集は一時的なものとして扱われ、一度 Axisプリントサーバの電源を落とすと編集内容が失われます。
- □ Macintoshから config ファイルを編集する場合、MacTCP、Fetch、Anarchie などの FTP サポートが必要になります。 config ファイルを編集するた めの手順は、上記と同じです。

次の例は、DOS 窓から FTP を利用してお使いのホストに config ファイルを転送し、Axis プリントサーバに編集後のファイル を保存する方法を示しています。

#### 例:

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 5600+ FTP Print Server v6.30 May 17 2002 ready.
Name (npserver:thomas): root
331 User name ok, need password
Password: pass
                     (見えません)
230 User logged in
ftp> get config
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for config
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.24 seconds (35.63 kbytes/s)
ftp> put config CONFIG
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for CONFIG
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.45 seconds (19.04 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
```

#### Status ファイルを 見る

status コマンドは、論理プリンタが割り当てられているプリン タポート、またそれらのステータスを表示します。

以下の手順にしたがって、FTP を利用してステータスを確認し てください。

1. Windows 環境では、DOS 窓(MS-DOS プロンプト、コマン ドプロンプト)を開きます。UNIX ではシェルウィンドウ を開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリント サーバにログインします。

ftp ホスト名 または ftp IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力します(デフォルトでは、 root & pass です)。
- 3. 以下のコマンドを入力して、statusファイルをホストに転 送します。

get status

4. テキストエディタを利用して、statusファイルの内容を表 示してください。

#### Account ファイルを 見る

account ファイルには、最近 20 個のプリントジョブに関する データが含まれています。内部ジョブ番号、ジョブを発行し たユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステー タス (完了、オフライン、印刷中)、印刷されたバイト数、経 過時間とオフライン時間を表示します。

以下の手順にしたがって、FTP を利用して account ファイルを 確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓(MS-DOS プロンプト、コマン ドプロンプト)を開きます。UNIX ではシェルウィンドウ を開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリント サーバにログインします。

ftp ホスト名 または ftp IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力します (デフォルトでは、 root & pass です)。
- 3. 以下のコマンドを入力して、account ファイルをホストに 転送します。

get account

4. テキストエディタを利用して、account ファイルの内容を 表示してください。

#### FTP のヘルプ

上記の手順3で、help と入力してください。利用可能なコマンドのリストが表示されます。

#### Telnet を利用する

Axis プリントサーバに有効な IP アドレスを割り当てれば、TELNETを利用してAxisプリントサーバのパラメータ設定を変更することができます。IP アドレスの割り当てについては、15ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

#### Account ファイルを 見る

account ファイルには、最近 20 個のプリントジョブに関するデータが含まれています。内部ジョブ番号、ジョブを発行したユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステータス(完了、印刷中)、印刷されたバイト数、経過時間とオフライン時間を表示します。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用して account ファイルを表示してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓(MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト)を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

telnet ホスト名 または telnet IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力します(デフォルトでは、root と pass です)。
- 3. 以下のコマンドを入力して、account ファイルを表示します。

account

次の例は、UNIX のシェルウィンドウから TELNET を利用して account ファイルを表示する方法を示しています。

#### 例:

```
> telnet npserver
Trying 192.36.253.96...
Connected to npserver.
Escape character is '^]'.
AXIS 5600+ TELNET Print Server v6.30 May 17 2002
AXIS 5600+ network login: root
Password: pass (見えません)
AXIS 5600+ TELNET Print Server v6.30 May 17 2002
Root> account
Current account file:
         USER PROT LPR S BYTES ETIME
JOB
 1
          Thomas FTP
                          pr2 C 1885
 2
               LPT pr1 C 23074 4
         Joe
 3
         RICHARD PSERVER pr2 C 43044 5
         MacUser APPLE pr1 C 6717 2
 4
 5
         LSLM_userNetBIOS pr2 C 36995 3
          patrick PROS
                           pr5 P 83208 9
 6
Root>
```

Account ファイルを見るための典型的な TELNET セッション

#### Status ファイルを 見る

status コマンドは、論理プリンタが割り当てられているプリンタポート、またそれらのステータスを表示します。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用してステータスを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓(MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト)を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

telnet ホスト名 または telnet IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力します(デフォルトでは、root と pass です)。
- 3. 以下のコマンドを入力して、status ファイルをホストに転送します。

status

#### リセットを実行する

ソフトリセット、ハードリセット、プリントサーバのパラメータをデフォルト設定にリセットする、三種類のリセットコマンドを実行できます。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用してソフトリセットを実行してください。

1. 以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログ インします。

telnet ホスト名 または telnet IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力します(デフォルトでは、root と pass です)。
- 3. 以下のコマンドを入力し、プリントサーバのプロトコルを 再起動します。

softreset

その他の二種類のリセットを実行するには、手順 3 のコマンドを、hardreset (ハードリセット) または default (デフォルト設定にリセット) に置き換えてください。

#### TELNET のヘルプ

上記の手順3で、help と入力してください。利用可能なコマンドのリストが表示されます。

#### SNMP を利用する

SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用して、Axis プリントサーバのリモート監視および設定を行うことができます。 プリントサーバの主な機能がすべてサポートされています。

#### 一般的な情報

SNMPとは、プロトコル、データベース構造の仕様、データオブジェクトの集合を含む、ネットワーク管理のための標準の集合を示します。Axis プリントサーバの SNMP の実装は、TCP/IP 環境で動作します。

管理は、ネットワーク上のホストで動作する SNMP マネージャで行われます。 SNMP マネージャは、一つまたは複数のオブジェクトへの参照であるメッセージを利用し、ネットワーク上のデバイスと通信します。

メッセージは、デバイスに対する問い合わせや指示、または デバイスのある特定のイベントのきっかけとなるアラームの 場合 が あ り ま す。オ ブ ジェ ク ト は、MIB(Management Information Base)と呼ばれるデータベースに含まれています。 MIB-II が標準的なデータベースです。

Axis プリントサーバは MIB-II に対応しています。また、AXIS MIB (プライベートエンタープライズ MIB) も含まれています。

AXIS MIB

Axis プリントサーバの SNMP サポートを十分に活用するには、AXIS MIB のようなプライベートエンタープライズ MIB のインストールを行える、SNMP マネージャが必要になります。

AXIS MIB には、以下のオブジェクトが含まれます。

- メニューオブジェクト SNMP マネージャから Axis プリント サーバの設定を確認したり、変更するのに使用します。詳しくは、105ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。
- プリンタステータスオブジェクトと製品の管理オブジェクト - Axis プリントサーバのプリントジョブの監視、パラメータ の変更を保存するのに使用します。
- トラップオブジェクト 様々なエラーを通知するのに使用します。

技術的な詳細については、任意のテキストエディタを利用して MIB ファイル (axis.mib) をご覧ください。

SNMPマネージャから FTP を利用し、AXIS MIB をプリントサーバからお使いの SNMP マネージャにダウンロードすることができます。

以下の手順にしたがって、お使いの SNMP マネージャに AXIS MIB を追加してください。

- 1. FTP を利用して Axis プリントサーバ にログインします。
- 2. SNMP マネージャが動作するホストに、MIB ファイルを転送します。ファイル名は、/snmp/axis.mib です。
- 3. お使いの SNMP マネージャのマニュアルにしたがい、AXIS MIB をインストールしてください。

#### ノベル社のユーティリティを利用する

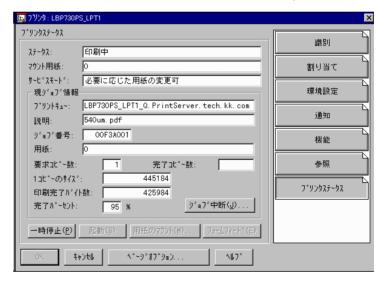
Axisプリントサーバを NetWare 環境にインストールした場合。 ノベル社の NetWare アドミニストレータや PCONSOLE を利用 して Axis プリントサーバを管理することができます。

#### NetWare の管理

以下に、NetWare アドミニストレータが提供する便利な機能に ついて説明します。

#### プリンタステータス

以下のプリンタステータスメニューは、Axis プリントサーバ によってサービスされるアクティブなプリントジョブのス テータスを表示します。このメニューには、プリントキュー、 プリントジョブの説明、プリントジョブのサイズ、ジョブの 完了パーセントなどを含む、アクティブなジョブに関する詳 しい情報が含まれます。また、このメニューからプリントジョ ブを中断したり、一時停止することもできます。



NetWare アドミニストレータのプリンタステータスメニュー

#### 诵知 Axis プリントサーバに接続されたプリンタのステータスを通

知する機能を、NetWare アドミニストレータを利用して有効に したり無効にしたりできます。ステータスには、ビジー、オ フライン、用紙補給、紙詰まりなどがあります。また、ステー タスの通知を受けるユーザのリストに、プリントジョブの オーナーや管理者を追加したり、削除したりすることもでき ます。

#### プリントレイアウト

NetWare の任意の部門単位で、インストール済みの Axis プリ ントサーバや、作成されたプリントキューを確認することが できます。



NetWare のプリントレイアウト

### 第 11 章 AXIS 5600+、AXIS 5400+ の新機能

この章では、Axis プリントサーバの新しい機能について説明します。これらの機能は、Axis プリントサーバに組み込まれているファームウェアに実装されています。ファームウェアは、Axis のホームページから無料でダウンロードすることができます。詳しくは、99 ページ「ファームウェアをアップグレードする」を参照してください。

#### Auto-IP

Auto-IP 機能により、プリントサーバをネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスの割り当てが行われます。ネットワーク上で DHCP サーバを利用できる場合、Axis プリントサーバはネットワークに接続されるとすぐに DHCP サーバから IP アドレスを受け取ります。DHCPサーバが動作していない場合、Axis プリントサーバは Auto-IP 機能によって自動的に IP アドレスを割り当てられます。Auto-IP 機能はデフォルトで有効になっています。ユーザによる設定は特に必要はありません。

Auto-IP 機能が利用するデフォルトの IP アドレスは、**169.254.xxx.xxx** になります。

Auto-IP 機能は、Axis プリントサーバの DHCP パラメータが有効になっている場合のみ動作します。また、購入したばかりの Axis プリントサーバのインストール時に、この機能は自動的に有効に設定されます。

Axis プリントサーバを工場出荷時のデフォルト設定にリセットし、プリントサーバが再起動した時に DHCP が利用できなかった場合、Auto-IP 機能によって IP アドレスの割り当てが行われます。

#### IPP (Internet Printing Protocol)

Axis プリントサーバは、IPP(Internet Printing Protocol)によるインターネットを経由した印刷を可能にします。IPP は、インターネット上のリモートプリンタに印刷を実行するためのプロトコルです。

IPP を利用すれば、インターネットに接続しているユーザが、インターネット上に接続されているプリンタに印刷ジョブを送れるようになります。IPP はシステムに依存しないプロトコルで、TCP/IP に対応する LAN や WAN で使用することができます。

分かりやすく言えば、ユーザは FAX や電子メールの代わりに、通常のネットワーク印刷と同様のカラーオプションなどを利用して、リモートプリンタに印刷することができます。

IPP を利用してリモートプリンタに印刷するには、以下が必要になります。

- Windows 2000 がインストールされているコンピュータ。
- プリントジョブを送信するプリンタは、IPP機能に対応するプリントサーバ、Axis プリントサーバなどに接続してください。Axis プリントサーバの IPP機能は、インストール完了時に自動的に有効になります。

### IPP プリンタの アドレス構造

IPP印刷を利用する場合、IPPが有効になっているプリントサーバの IP アドレスまたはホスト名が必要になります。IPP はクライアントサーバ型のプロトコルで、以下の 2 種類があります。

• 1.0 標準: http: アドレス構造を使用

接続先のプリンタのURLには、以下が含まれます。

- 1. プリントサーバの IP アドレスまたはホスト名
- 2. ポート番号:631
- 3. ローカルプリンタのポート名

# 接続先のアドレス (1.0 標準)

たとえば、Axis プリントサーバのホスト名が axisps、ポート番号が 631、ローカルプリンタのポート名が LPT1 の場合、接続先はのアドレスは http://axisps:631/LPT1のようになります。

ホスト名を利用した接続先アドレス	出力先のプリンタ
http://axisps:631/LPT1	LPT1 パラレルポートに接続されたプ
	リンタ

#### <u>利用可能な</u> IPP クライアント

Axis プリントサーバは、IPP1.0 互換の IPP クライアントに対応しています。Windows 2000 をインストールすると、Microsoft IPP クライアントが自動的にインストールされます。

Axis プリントサーバは、各ポートに対して IPP プリンタオブ ジェクトを一つずつ表示します。IPP クライアントについて詳 しくは、IPP クライアントのマニュアルを参照してください。

#### ファイアウォール について

サーバと IPP クライアントの間に、一つまたは複数のファイア ウォールが存在する場合、ファイアウォールの設定変更が必 要になる場合があります。IPP は印刷の際に TCP ポート番号 631 を使用するため、サーバとクライアント間に存在するファ イアウォールは、ポート上で双方向通信ができるよう設定さ されている必要があります。ファイアウォールの設定変更に ついては、ネットワーク管理者に相談してください。

#### 始める前に

IPP プリンタで印刷を行う前に、以下について確認してくださ 11

- **プリントサーバのアドレス** http:// で表されるアドレス には、プリントサーバの IP アドレスまたはホスト名、 ポート番号(1.0標準では631を使用)、プリンタポート 名が含まれます。
- **プリンタの種類と製造元** 適切なプリンタドライバをイ ンストールするのに必要です。
- プリンタポート名 プリンタが接続されているプリント サーバのプリンタポート名。

#### プリンタリストに IPP プリンタを 追加して印刷する

この例では、Axis プリントサーバの IP アドレスとして 192.168.70.183、Axis プリントサーバに接続されているプリンタポートに LPT1、利用するプリンタに Fuji Xerox DocuPrint 201PS を使用しています。

送信先のアドレスは、http://192.168.70.183:631/LPT1 となります。

- 1. 印刷するドキュメントのメニューから、[ファイル] [印刷] を選択します。
- 2. [選択するプリンタ] フィールドから、[プリンタの追加] をダブルクリックします。[プリンタの追加ウィザード] が開始します。
- 3. ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを追加する画面が表示されます。[ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4. [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] オプションを選択し、[URL] フィールドに送信先のアドレスを入力します。[次へ] をクリックします。



5. お使いのコンピュータに送信先のプリンタのドライバが ない場合は、メッセージが表示されます。[OK] をクリッ クしてドライバをインストールしてください。 6. 送信先のプリンタに対応する、製造元とプリンタの種類を 選択します。[OK] をクリックします。



- 7. インストールしているプリンタを通常使うプリンタとして使用するか、選択してください。[次へ] をクリックしてプリンタの追加ウィザードを完了します。
- 8. 新しいプリンタが [プリンタの選択] フィールドに表示されます。



9. IPP を利用して印刷する準備が整いました。追加したプリンタを選択し、[印刷] ボタンをクリックしてください。

#### ネットワークの速度

ネットワーク速度のパラメータ (NETWORK\_SPEED) を利用して、データ送受信の速度を手動で設定することができます。お使いのネットワークに合わせて、ネットワークスピード (10 または 100M/ ビット) の設定を変更してください。

ネットワーク速度を変更するには、まず Axis プリントサーバの内部 Web ページを開いてください。[admin] ボタンをクリックし、管理者モードに入ります。[General Settings] ボタンをクリックし、[General] タブを選択します。以下のオプションから、使用するネットワーク速度を選択します。

AUTO_SENSE	データ転送を行うネットワークごとに、最
(デフォルト値)	適なネットワークスピードを検出します。
10_HALFDX	10M ビット / 秒、半二重。
10_FULL-DX	10M ビット / 秒、全二重。
100_HALF_DX	100M ビット / 秒、半二重。
100_FULL-DX	100M ビット / 秒、全二重。

ネットワーク速度のデフォルト値は、AUTO\_SENSEです。このオプションは、ほとんどのユーザに適した選択肢です。お使いのネットワークに適合しないオプションを選択した場合、プリントサーバとの接続が切断されることがあります。

### 第 12 章 ソフトウェアの更新

#### 更新されたソフトウェアを入手する

以下のソフトウェアは、無料でアップグレードすることがで きます。アップグレード情報については、Axis のホームペー ジをご覧ください (http://www.axiscom.co.ip/)。

- **AXIS Print Monitor**
- AXIS NetPilot
- AXIS Print Utility for OS/2
- Axis プリントサーバのファームウェア
- axinstall スクリプト
- AXIS MIB ファイル

#### ファームウェアをアップグレードする



以下の方法を利用して、Axis プリントサーバのフラッシュメ モリをアップグレードすることができます。

- FTP (TCP/IP)
- AXIS NetPilot のアップグレードウィザード(IPX/SPX)

# アップグレードする

FTP を利用して FTP を利用してネットワーク経由でアップグレードを行うに は、まずプリントサーバの新しいファームウェアを入手して ください。バージョン 6.20 のファームウェアの場合、ファイ ル名は、5600+ 620.bin (製品名 バージョン .bin) のよ うになります。

> この方法を利用してファームウェアのアップグレードを行う 前に、Axisプリントサーバに IP アドレスを割り当てておく必 要があります。詳しくは、15ページ「IP アドレスの割り当て」 を参照してください。

> 以下の手順にしたがって、ファームウェアのアップグレード を行ってください。

#### 警告!

□ アップグレードを中断しないよう注意してください。アップグレー ドが途中で中断された場合、修理が必要になることがあります。

1. 以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

ftp ホスト名 または ftp IP アドレス

- 2. ユーザ ID とパスワードを入力する画面が表示されます。 ユーザ ID として root を利用します。root のデフォルト パスワードには、pass を入力してください。
- 3. 以下のコマンドを入力し、バイナリ転送モードに移行します。

bin

4. 以下のコマンドを入力し、ファームウェアのアップグレードを実行します。*ソフトウェア名*は、新しいファームウェアのファイル名です。

put ソフトウェア名 FLASH

- 5. フラッシュローディングが終了するまで、そのまま待ってください。通常、フラッシュローディングには1~4分かかります。Axis プリントサーバは、新しいファームウェアを利用して自動的に再起動します。
- 6. お使いの FTP のバージョンに合わせて、quit、bye、または exit と入力してログアウトしてください。

**注意**: □ ネットワーク上でアップグレードを妨げるような問題が発生した場合は、修理が必要になることがあります。

### AXIS NetPilotP を利用 してアップグレード する

NetWare ネットワークでフラッシュメモリをアップグレード するために推奨される方法です。必要な手続きを通して案内 をしてくれるアップグレードウィザードが利用できます。

以下の手順にしたがって、お使いのプリントサーバをアップグレードしてください。

- 1. まず、更新されたファームウェアをダウンロードします。
- 2. ダウンロードしたファイルを、AXIS NetPilot の Upgrade フォルダに置きます。このフォルダは、AXIS NetPilot のプログラム本体と同じフォルダにあり、AXIS NetPilot をインストールした際にお使いのクライアント上に作成されます。
- 3. AXIS NetPilot のツールバーから [アップグレード] ボタン をクリックし、アップグレードウィザードを起動します。
- 4. アップグレードウィザードで示される手順にしたがい、 アップグレードを行います。

AXIS NetPilot を利用したファームウェアのアップグレードについて詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。

# 第 13 章 テストボタン

Axis プリントサーバの側面には、テストボタンが備えられています。テストボタンを利用して、以下のことを行えます。

- テストページを印刷し、プリンタとの接続状態を確認する。
- パラメータリストを印刷し、Axis プリントサーバの現在の 設定を確認する。
- Axisプリントサーバのパラメータを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする。

#### 注意:

□ プリンタが PostScript ファイル、また ASCII テキストファイルを印刷できない場合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

### テストページ

テストボタンを1回押すと、テストページが印刷されます。テストページが印刷されれば、プリンタのインターフェースとの接続は正しく機能しています。テストページには、Axis プリントサーバに関する基本的な情報が含まれています。Axis プリントサーバをプリンタに接続した時は、テストページを印刷することをお勧めします。

#### 注意:

□ テストページは、デフォルトで LPT1 ポートに印刷されます。LPT2 ポートまたは COM1 ポートに印刷する場合は、config ファイルに含まれているパラメータの値(DEF\_OUT)を、LPT2 または COM1 に設定してください。

### パラメータリスト

テストボタンを 2 回押すと、Axis プリントサーバの現在の設定を示すパラメータリストが印刷されます。パラメータリストには、現在のパラメータ設定の詳しい情報が含まれます。詳しくは、105ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。

パラメータを変更する場合は、69ページ「第 10 章 設定と管理」で説明されている方法を利用してください。

#### 注意:

口 パラメータリストは、デフォルトで LPT1 ポートに印刷されます。LPT2 または COM1 ポートに印刷する場合は、config ファイルに含まれているパラメータの値(DEF\_OUT)を、LPT2 または COM1 に設定してください。

### 工場出荷時のデフォルト設定

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバを工場出荷時 のデフォルト設定にリセットしてください。

- 1. Axis プリントサーバの外部電源を取り外し、電源を切っ てください。
- 2. テストボタンを押しながら Axis プリントサーバの外部電 源アダプタを接続し、電源を入れます。ネットワークイン ディケータが1秒間隔で点滅し始めるまで、テストボタン を押し続けます。この状態になるまで、約5秒ほどかかり ます。
- 3. テストボタンを放し、ネットワークインディケータが最低 5回点滅するまで待ちます。
- 4. ネットワークインディケータが点灯し続けるまで、再びテ ストボタンを押し続けます。
- 5. 電源を入れ直し、Axis プリントサーバを再起動します。

Axisプリントサーバは、工場出荷時のデフォルト設定にリセッ トされました。

注意: ロ ノードアドレス (NODE\_ADDR)、IP アドレス (IP\_ADDR)、DHCP の有 効・無効の切り替え(DHCP ENABLE)を除く他のパラメータは、す べてリセットされます。テストボタンでリセットされないパラメー タを変更するには、Webブラウザから Axis プリントサーバの内部 Web ページにアクセスしてください。詳しくは、69ページ「第10章 設 定と管理」を参照してください。.

この章では、Axis プリントサーバのパラメータの概要について説明します。

### Config ファイル

表の左側の欄には、config ファイルに表示されるパラメータ名称と、そのデフォルト値を示します。右側の欄には、Axis プリントサーバの内部 Web ページに表示されるパラメータ名を示します。

パラメータの変更を行った場合、ほとんどのパラメータは次のプリントジョブから変更が適用されます。パラメータの説明の中で、「再起動が必要」とされているパラメータの変更を適用するには、Axis プリントサーバを再起動する必要があります。

パラメータの変更方法について詳しくは、69ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

#### 注意:

□ パスワードのパラメータ (ROOT\_PWD および ROS\_PWD) は、root を利用して Axis プリントサーバにログインした時のみ表示されます。テストボタンを利用してパラメータリストを印刷した場合、パスワードパラメータの値は印刷されません。

Node Address (ノードアドレス)
Network Speed(ネットワーク速度)
Print Server Name (プリントサーバ名 / 下 6 桁の英数字はプリ
ントサーバのシリアル番号)
Root Password (root のパスワード)
User and Printer Access List (ユーザのアクセス権リスト)
Base URL(ベース URL)
Character Settings (文字コード)
Language Menu(言語の選択)
Enable compatibility with AXIS Print System(APS の有効・無効)
HP JetAdmin Support(日本語環境では未対応)
Internal Printout Destination(内部的な印刷の出力先)
System Location(システムの場所)
System Contact (システムの問い合わせ先)

--- TCP/IP MENU

101/11			
TCP_ENB.	: YES	TCP/IP Enabled(TCP/IP 印刷の有効・無効)	
INT_ADDR.	: 0 0 0 0	Internet Address(IP アドレス)	
DEF_ROUT.	: 0 0 0 0	Default Router Address(デフォルトゲートウェイ)	
		デフォルトゲートウェイがない時は、0.0.0.0	
NET_MASK.	: 0 0 0 0	Net Mask (サブネットマスク)	
		クラスC では255.255.255.0、自動検知の時は0.0.0.0	
PROS_PWD.	: netprinter	PROS Password (PROS プロトコルのパスワード)	
PROS_PRT.	: 35	PROS TCP Port Number (PROS の TCP ポート番号)	
LPD_BANN.	: OFF (OFF, AUTO, LAST)	LPD Banner Page Mode (LPD バナーページのモード)	
DHCP_ENB.	: YES	DHCP Enabled(DHCP の有効・無効)	
AUTOIP_ENB.	: YES	Auto-IP enabled(Auto-IP の有効・無効)	
BOOTP_ENB.	: YES	BOOTP Enabled(BOOTP の有効・無効)	
RARP_ENB.	: YES	RARP Enabled(RARP の有効・無効)	
WINS_ENB.	: YES	WINS Enabled(WINS の有効・無効)	
WINS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary WINS Server Address(プライマリ WINS サーバアドレス)	
WINS_ADDR2.	: 0 0 0 0	Secondary WINS Server Address(セカンダリ WINS サーバアドレ	
		ス)	
NBT_SCOPE_ID	. :	NBT Scope ID(WINS の名前とともに使用される NetBIOS スコー	
		プの定義)	
DNS_ENB.	: YES	DNS Enabled (DNS の有効・無効)	
DNS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary DNS Server Address(プライマリ DNS サーバアドレス)	
DNS_ADDR2.	: 0 0 0 0	Secondary DNS Server Address (セカンダリ DNS サーバアドレス)	
DOMAIN_NAME.	:	Domain Name (Axis プリントサーバが属するドメイン名)	
SMTP SERVER:		SMTP を利用するメールサーバ	
SLP_SCOPE_LI	ST.: DEFAULT	Axis プリントサーバが属する SLP スコープ	
RTN_OPT.	: NO	Reverse Telnet Options Enabled(Reverse Telent の有効・無効)	
RTEL_PR1.	: 0	PR1 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR2.	: 0	PR2 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR3.	: 0	PR3 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR4.	: 0	PR4 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR5.	: 0	PR5 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR6.	: 0	PR6 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR7.	: 0	PR7 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
RTEL_PR8.	: 0	PR8 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telent の TCP ポート番号)	
Control	Print MENU <b>(この機能は日本語環境では</b> え	長対応です)	
CARPO_CL_ENB	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
CARPO_SR_ADR	ESS. : 0 0 0 0		
CARPO_SR_POR	T.: 2050		

CARPO_CL_ENB. : NO	
CARPO_SR_ADRESS. : 0 0 0 0	
CARPO_SR_PORT. : 2050	
CARPO_CL_PRINTER. : PR1	
(PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	
CARPO_SR_ONLY. : NO	
TRUSTED_SR_1. : 0 0 0 0	
TRUSTED_SR_2. : 0 0 0 0	
TRUSTED_SR_3. : 0 0 0 0	***
TRUSTED_SR_4. : 0 0 0 0	

 SNMP	MENU

READ_COM.	: public		Read Community (読み出しコミュニティ )
WRT_COM.	: pass		Read/Write Community(読み書き可能コミュニティ)
TRAPADDR.	: 0 0 0 0		Trap Address (SNMP トラップアドレス)
TRAP_COM.	: public		Trap Community (SNMP トラップコミュニティ)
SYS_NAME.	:		System Name (システムの名前)
SNMP_AUT.	: DISABLE	(DISABLE, ENABLE)	Authentication Failure Trap(認証失敗トラップの有効・無効)
TRAP_PRT.	: DISABLE	(DISABLE, ENABLE)	Printer Failure Trap ( プリンタトラッブの有効・無効 )

#### --- NETWARE MENU

NEIWARE MENU		
NETW_ENB.	: YES	NetWare Enabled(NetWare 印刷の有効・無効)
NETW_TRANSPORT_PROTOCO	DL. : DUAL_STACK (IPX_ONLY, IP_ONLY, DUAL_STACK)	NetWare Transport protocols Enabled(NetWare トランスポートプロトコルの有効・無効)
JOB_CHECK_DELAY.	: 5	Job Check Delay (プリントサーバのキューポーリング間隔)
CONF_CHECK_DELAY.	: 300	Configuration Check Delay(自動設定チェックの間隔)
FR_802_3.	: YES	IEEE 802.3 Frame Type Enabled(IEEE802.3 の有効・無効)
FR_ETH_2.	: YES	Ethernet II Frame Type Enabled(Ethernet II の有効・無効)
FR_802_2.	: YES	IEEE 802.2 Frame Type Enabled(IEEE802.2 の有効・無効)
FR_SNAP.	: YES	SNAP Frame Type Enabled(SNAP の有効・無効)
NCP_BURST_MODE.	: YES	NCP Burst Mode Enabled(NCP バースモードの有効・無効) 再起動が必要
PSERVER_NDS_ TREE	:	Axis プリントサーバがログインする NDS ツリーまたはファイル
PSERVER_NDS_FILESERVEF		サーバ
PSERVER_NDS_DISTINGUIS	SHED _NAME:	ツリー内のプリントサーバオブジェクトへのパス
PSERVER_BINDERY1.	:	PSERVER Bindery 1(バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY2.	:	PSERVER Bindery 2(バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY3.	:	PSERVER Bindery 3 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY4.	:	PSERVER Bindery 4(バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY5.	:	PSERVER Bindery 5 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY6.	:	PSERVER Bindery 6 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY7.	:	PSERVER Bindery 7 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY8.	:	PSERVER Bindery 8(バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY9.	:	PSERVER Bindery 9(バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY10.	:	PSERVER Bindery 10 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY11.	:	PSERVER Bindery 11 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY12.	:	PSERVER Bindery 12 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY13.	:	PSERVER Bindery 13 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY14.	:	PSERVER Bindery 14 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY15.	:	PSERVER Bindery 15 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY16.	:	PSERVER Bindery 16 (バインダリファイルサーバ名)
NPRINTER1.	:	NPRINTER/RPRINTER 1 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER2.	:	NPRINTER/RPRINTER 2 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER3.	:	NPRINTER/RPRINTER 3 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER4.	:	NPRINTER/RPRINTER 4 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER5.	:	NPRINTER/RPRINTER 5 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER6.	:	NPRINTER/RPRINTER 6 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER7.	:	NPRINTER/RPRINTER 7 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER8.	:	NPRINTER/RPRINTER 8(プリントサーバ名とスロット番号)

LSLM_ENB.	: YES	NetBIOS/NetBEUI Enabled(NetBIOS/NetBEUI 印刷の有
		効・無効)
NB_FR_TYPE.	: FR_AUTO (FR_AUTO, FR_802_2, FR_DIX)	NetBIOS Frame Type(NetBIOS フレームタイプ)
LPRINT_1.	: AX100000.LP1	再起動が必要
LLOGIC_1.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Name Printer 1 (プリンタ 1 の名前)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ)
LPRINT_2.	: AX000000.LP2	Name Printer 2 (プリンタ 2 の名前)
LLOGIC_2.	: PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 2(プリンタ 2 の論理プリンタ)
LPRINT_3.	: AX100086.CM1	Name Printer 3 (プリンタ 3 の名前)
LLOGIC_3.	: PR3 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 3(プリンタ 3 の論理プリンタ)
LPRINT_4.	:	Name Printer 4 Name (プリンタ 4 の名前)
LLOGIC_4.	: PR4 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 4(プリンタ 4 の論理プリンタ)
LPRINT_5.	:	Name Printer 5 (プリンタ 5 の名前)
LLOGIC_5.	: PR5 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 5(プリンタ 5 の論理プリンタ)
LPRINT_6.	:	Name Printer 6 (プリンタ 6 の名前)
LLOGIC_6.	: PR6 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 6(プリンタ 6 の論理プリンタ)
LPRINT_7.	:	Name Printer 7 (プリンタ 7 の名前)
LLOGIC_7.	: PR7 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 7(プリンタ 7 の論理プリンタ)
LPRINT_8.	:	Name Printer 8(プリンタ 8 の名前)
LPRINT_8. LLOGIC_8.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Name Printer 8(プリンタ 8 の名前) Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)
LLOGIC_8.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	
LLOGIC_8.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)
LLOGIC_8 APPLETALK ATLK_ENB.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled(AppleTalk 印刷の有効・無効)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES :	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)  AppleTalk Enabled(AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone(AppleTalk ゾーン)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : : YES	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)  AppleTalk Enabled(AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone(AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled(日本語環境では未対応)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)  AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン)  HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)  AppleTalk Enabled(AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone(AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled(日本語環境では未対応) Font(PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type(日本語環境では未対応)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)  AppleTalk Enabled(AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone(AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled(日本語環境では未対応) Font(PostScript フォントセット)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ)  AppleTalk Enabled(AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone(AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled(日本語環境では未対応) Font(PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type(日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリント
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1. ATYPE_1. ALOGIC_1.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4,	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.  ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロ
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.  ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1 APRINT_2.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロトコル) Name Printer 2(プリンタ 2 の名前)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.  ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1 APRINT_2. ATYPE_2.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)  : AXIS100086_LPT2 : LaserWriter : PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4,	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロトコル)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.  ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1  APRINT_2. ATYPE_2. ALOGIC_2.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)  : AXIS100086_LPT2 : LaserWriter	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロトコル) Name Printer 2(プリンタ 2 の名前) Type Printer 2(プリンタ 2 のタイプ)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.  ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1  APRINT_2. ATYPE_2. ALOGIC_2.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE) : AXIS100086_LPT2 : LaserWriter : PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロトコル) Name Printer 2(プリンタ 2 の名前) Type Printer 2(プリンタ 2 のタイプ) Logical Printer for Printer 2(プリンタ 2 のタイプ) Binary Protocol for APRINT_2(プリンタ 2 論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_2(プリンタ 2 のバイナリプロトコル) Name Printer 3(プリンタ 3 の名前 / 下 6 桁はプリント
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1. ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1 APRINT_2. ATYPE_2. ALOGIC_2. BINARY_TYPE_2 BINARY_TYPE_2	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)  : AXIS100086_LPT2 : LaserWriter : PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロトコル) Name Printer 2(プリンタ 2 の名前) Type Printer 2(プリンタ 2 の名前) Binary Protocol for APRINT_2(プリンタ 2 論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_2(プリンタ 2 のバイナリプロトコル) Name Printer 3(プリンタ 3 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号)
LLOGIC_8.  APPLETALK ATLK_ENB. ATK_ZONE. ZONER_EN. ATK_FONT. AUTO_DT_PRIN APRINT_1.  ATYPE_1. ALOGIC_1. BINARY_TYPE_1 APRINT_2. ATYPE_2. ALOGIC_2. BINARY_TYPE_2 APRINT_3.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)  MENU : YES : : YES : DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL) : DEFAULT: ENABLED : AXIS100000_LPT1  : LaserWriter : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)  : AXIS100086_LPT2 : LaserWriter : PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)  : AXIS100086_LPT2 : LaserWriter : PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1) .: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Logical Printer for Printer 8(プリンタ 8 の論理プリンタ) AppleTalk Enabled (AppleTalk 印刷の有効・無効) AppleTalk Zone (AppleTalk ゾーン) HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応) Font (PostScript フォントセット) Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応) Name Printer 1(プリンタ 1 の名前 / 下 6 桁はプリントサーバのシリアル番号) Type Printer 1(プリンタ 1 のタイプ) Logical Printer for Printer 1(プリンタ 1 の論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_1(プリンタ 1 のバイナリプロトコル) Name Printer 2(プリンタ 2 の名前) Type Printer 2(プリンタ 2 のタイプ) Logical Printer for Printer 2(プリンタ 2 のタイプ) Binary Protocol for APRINT_2(プリンタ 2 論理プリンタ) Binary Protocol for APRINT_2(プリンタ 2 のバイナリプロトコル) Name Printer 3(プリンタ 3 の名前 / 下 6 桁はプリント

PRINTER1	MENU	
PR1_OUT.	: LPT1 (NON, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port (物理ポート)
PR1_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Secondary Printer(第 2 プリンタ)
PR1_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR1_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port(情報のリードバック)
PR1_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR1_STR.	:	String Substitutions(文字列の置換)
PR1_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion(日本語環境では未対応)
PR1_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR1_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR1_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無効)
PR1_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size(PostScript のページサイズ)
PR1_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation(PostScript のページの向き)
PR1_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR1_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は

Courier)

PRINTE	R2 MENU	
PR2_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port(物理ポート)
PR2_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Secondary Printer(第2プリンタ)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	•
PR2_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR2_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read back Port (情報のリードバック)
PR2_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR2_STR.	:	String Substitutions(文字列の置換)
PR2_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM,	Character Set Conversion(日本語環境では未対応)
	7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	
PR2_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR2_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR2_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled(16 進ダンプモードの有効・無
		効)
PR2_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size(PostScript ページサイズ)
PR2_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation(PostScript のページの向き)
PR2_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット)
		(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR2_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は
		Courier)

 PRINTER3	MENU

PR3_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port (物理ポート)
PR3_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, LPT2, COM1)	Secondary Printer(第 2 プリンタ)
PR3_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR3_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port(情報のリードバック)
PR3_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR3_STR.	:	String Substitutions(文字列の置換)
PR3_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion(日本語環境では未対応)
PR3_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR3_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR3_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無効)
PR3_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR3_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR3_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR3_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

#### --- PRINTER4 MENU

PR4_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port(物理ポート)
PR4_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	
PR4_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR4_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR4_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR4_STR.	:	String Substitutions(文字列の置換)
PR4_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM,	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
	7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	
PR4_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR4_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR4_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled(16 進ダンプモードの有効・無
		効)
PR4_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size(PostScript ページサイズ)
PR4_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation(PostScript のページの向き)
PR4_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット)
		(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR4_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は
		Courier)

PRINTER5	MENU
----------	------

PR5_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port (物理ポート)
PR5_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	
PR5_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR5_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR5_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR5_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions(文字列の変換)
PR5_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM,	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
	7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	
PR5_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR5_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR5_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled(16 進ダンプモードの有効・無
		効)
PR5_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size(PostScript ページサイズ)
PR5_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation(PostScript のページの向き)
PR5_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット)
		(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR5_FONT.	:	PostScript Font ( PostScript フォント / 指定がない時は
		Courier)

#### --- PRINTER6 MENU

PR6_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port(物理ポート)
PR6_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Secondary Printer(第 2 プリンタ)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	•
PR6_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR6_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port(情報のリードバック)
PR6_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR6_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions(文字列の置換)
PR6_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM,	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
	7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	
PR6_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR6_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR6_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無
		効)
PR6_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR6_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR6_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット)
		(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR6_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は
		Courier)

P	RINTER7	MENU
---	---------	------

PR7_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port (物理ポート)
PR7_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	
PR7_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR7_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR7_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR7_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions(文字列の変換)
PR7_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM,	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
	7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	
PR7_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR7_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR7_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled(16 進ダンプモードの有効・無
		効)
PR7_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR7_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR7_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット)
		(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR7_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は
		Courier)

#### --- PRINTER8 MENU

PR8_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, LPT2, COM1)	Physical Port (物理ポート)
PR8_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7,	Secondary Printer(第 2 プリンタ)
	PR8, LPT1, LPT2, COM1)	
PR8_WAIT.	: YES	Wait on Busy(ビジー時の待機の有効・無効)
PR8_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR8_BEF.	:	String Before Print Job(プリントジョブ前の文字列)
PR8_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions(文字列の置換)
PR8_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM,	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
	7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	
PR8_FILT.	: POSTSCR (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation(プリンタ言語の変換)
PR8_AFT.	:	String After Print Job(プリントジョブ後の文字列)
PR8_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled(16 進ダンプモードの有効・無
		効)
PR8_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR8_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation(PostScript のページの向き)
PR8_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット)
		(MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR8_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は
		Courier)

L1 CENTR.	: HISPEED (IBM_PC, STNDRD, FAST, HISPEED)	Centronics Interface Timing LPT1(LPT1 セントロニクスの
	,	タイミング)
L1_BSYTM.	: 60	Busy Status Time-Out LPT1(LPT1 ビジーステータスのタ
		イムアウト /0 の場合すべてのステータスレポートは無
		効)
L1_MGM_INFO.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information LPT1(LPT1 プリンタ管理
		情報の有効・無効)
L1_COMMENT.	:	Optional user comment describing the printer at LPT1 (LPT1
		プリンタのユーザによるコメント)
L1_BIDIR.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	LPT1 Bi-directional printing(LPT1 の双方向印刷の有効・
		無効)
COM1 Mer		
C1_BAUDR.	: 9600 (300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200)	Baud Rate COM1(COM1 のボーレート)
C1_NBITS.	: 8 (7, 8)	Word Length COM1(COM1 のワード長)
C1_PARIT.	: NONE (NONE, ODD, EVEN)	Parity COM1(COM1 のパリティ)
C1_STOPB.	: 2 (1, 2)	Stop Bit COM1(COM1 のストップビット)
C1_HNDSH.	: ROBUST-BOTH (NONE, XON/XOFF, ROBUST,	Handshake Protocol COM1 (COM1 のハンドシェイクプロ
	RDY/BSY, BOTH, ROBUST-BOTH)	トコル)
C1_READT.	: 3	Printer Feedback Delay COM1(COM1 のプリンタフィード
		バック遅延)
C1_BSYTM.	: 60	Busy Status Time-Out COM1 (COM1 のビジーステータス
		タイムアウト/0の場合すべてのステータスレポートは無
		効))
C1_MGM_INFO.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information COM1 (COM1 のプリンタ
		管理情報の有効・無効)
C1_COMMENT.	:	Optional user comment describing the printer at COM1
		(COM1 プリンタのユーザによるコメント)
LPT2 Menu		
L2_CENTR.	: HISPEED (IBM_PC, STNDRD, FAST, HISPEED)	Centronics Interface Timing LPT2(LPT2 セントロニクスのタイミング)
L2_BSYTM.	: 60	Busy Status Time-Out LPT2(LPT2 ビジーステータスのタ
		イムアウト /0 の場合すべてのステータスレポートは無
		効)
L2_MGM_INFO.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information LPT2(LPT2 プリンタ管理
		情報の有効・無効)
L2_COMMENT.	:	Optional user comment describing the printer at LPT2 (LPT2
		プリンタのユーザによるコメント)
L2_BIDIR.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	LPT2 Bi-directional printing(LPT2 の双方向印刷の有効・

無効)

e-mail Menu	(この機能は日本語環境では未対応です)

EMAIL_NOTIFICATION: YES	e-mail Notification(電子メール通知の有効・無効)
REPLY_ADDRESS:	Network Administrator e-mail address (ネットワーク管理者
	のメールアドレス)
PAPER_JAM_ADDRESS:	e-mail address of paper-jam Administrator(紙詰まりの連絡
	先のメールアドレス)
OUT_OF_PAPER_ADDRESS:	e-mail address of Out-Of-Paper Administrator(用紙切れの連
	絡先のメールアドレス)
TONER_LOW_ADDRESS:	e-mail address of Toner-Low Administrator(トナー残量の連
	絡先のメールアドレス)
NO_TONER:ADDRESS:	e-mail address of No-Toner Administrator (トナー交換の連
	絡先のメールアドレス)
PRINTER_OFFLINE_ADDRESS:	e-mail address of Printer-Offline Administrator (プリンタ確
	認の連絡先のメールアドレス)

# 第 15 章 技術仕様

### 対応するシステム

Novell NetWare: NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J、5J(IPX のみ対応)。NDS

とバインダリエミュレーションの両方に対応。最大 16 台のバインダリファイルサーバと 96 個のプリントキューを処理可

能。ユーザメッセージに対応。

印刷方法:RPRINTER/NPRINTER、PSERVER。

IBM LAN Server: OS/2 J2.1、J2.11、J3.0、J3.01 の下で動作する LAN Server J3.0、

 $J4.0_{\circ}$ 

Microsoft Windows: Windows 95, Windows 98, Windows 98 SE, Windows NT 4.0,

Windows 2000, Windows Me.

UNIX: BSD 系: SunOS 4.x (Solaris 1.x) 等。

System V 系: SunOS 5.x (Solaris 2.x)、HP-UX、IBM AIX 等。 印刷方法: LPD、FTP、PROS(名前付きパイプとフィルタ)、

Reverse Telnet<sub>o</sub>

MacOS: 印刷方法: AppleTalk Phase 2

Web ブラウザ: Netscape Navigator 4.x 以上、Microsoft Internet Explorer 4.x 以

上。

### 対応するプロトコル

NetWare: IPX, SAP, RIP, SPX, NCP.

Windows 95/98/Me: NetBIOS/NetBEUI.

Windows TCP/IP (LPD, FTP, Telnet, Raw TCP, ARP, DHCP, ICMP, IP,

95/98/Me/NT/2000: IPP、TCP、UDP、HTTP、SNMP)。

LAN Server: NetBIOS/NetBEUI

UNIX: TCP/IP (LPD, FTP, Telnet, Reverse Telnet, PROS, BOOTP, ARP,

RARP, DHCP, ICMP, IP, TCP, UDP, HTTP, SNMP, TFTP)

MacOS: AppleEtherTalk (AARP, ATP, DDP, NBP, PAP, RTMP, ZIP)

<u>ネットワーク管理</u> SNMP-MIB II 準拠 (UDP/IP および IPX 上)、プライベートエン

タープライズ MIB を含む。NWAdmin/PCONSOLE でプリント

サーバステータスを確認可能。

### ハードウェア

AXIS 5600+: 32 ビット 100 MHz RISC コントローラ、2 M バイトのフラッ

シュメモリ、8 M バイトの RAM。

AXIS 5400+: 32 ビット 100 MHz RISC コントローラ、1 M バイトのフラッ

シュメモリ、2 M バイトの RAM。

論理ネットワーク 按結

イーサネット: IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet II フレームタイプを同時に使用可能。

TO TO ENGINEEZING THE

ファーストイーサネット:ネットワークスピードの自動検知のための NWAY 対応。IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet

Ⅱフレームタイプを同時に使用可能。

<u>物理ネットワーク</u> 接続 10BASE-Tイーサネット、100BASE-TXファーストイーサネット

用の RJ-45 コネクタ (カテゴリ 5 ツイストペア)。

セキュリティ

UNIX: root のパスワード。ユーザアクセス制限とプリンタアクセス制

限(FTPを利用する場合)。

NetWare: 暗号化パスワード。

**論理プリンタ** 論理プリンタポートは、プリントジョブの前後に文字列を追

加したり、文字列を置換したりすることを可能にします。

パラレルプリンタ

AXIS 5600+: IEEE 1284 準拠高速パラレルポートが 2 つ、25 ピン DSUB コネ

クタ。持続スループットは最大 1M バイト / 秒。

AppleTalk Ethernet、ReverseTelnet、PROS に対する双方向通信

に対応。ECP に対応。

AXIS 5400+: IEEE 1284 準拠高速パラレルポートが 1 つ、36 ピンセントロニ

クスコネクタ。持続スループットは最大 1M バイト / 秒。

AppleTalk Ethernet、ReverseTelnet、PROS に対する双方向通信

に対応。ECP に対応。

シリアルプリンタ

AXIS 5600+: シリアルポートが1つ、RS232C、9ピンDSUBコネクタ。

XON/XOFF、またはRTS/CTS。データ速度は115,200ボーまで。

**フロントパネル** LED インディケータ 2 つ (電源、ネットワーク)。

各種情報を印刷するためのテストボタン。

消費電力

AXIS 5600+: 専用外部電源: PS-F(5 VDC、1500 mA)。5 VDC で最大 1A。

AXIS 5400+: 専用外部電源: PS-B (12V AC、500 mA)。 12 VDC で最大 200 mA。

<u>寸法</u>

AXIS 5600+: 高さ×幅×奥行: 2.9 × 16.0 × 12.9 cm

AXIS 5400+: 高さ×幅×奥行: 2.4 × 6.1 × 12.1 cm

重量

AXIS 5600+: 0.28 kg

AXIS 5400+: 0.1 kg

<u>動作環境</u>

AXIS 5600+: 温度:5~40°C、湿度:20~80%(結露不可)

AXIS 5400+: 温度:5~40°C、湿度:10~95%(結露不可)

認可

電波に関する適合性

AXIS 5600+: EN 55022/1998、EN55024/1998。FCC Class A。

AXIS 5400+ : EN 55022/1994、EN50082-1/1992 $_{\circ}$  FCC Class  $A_{\circ}$ 

安全性 EN 60950.

# 付録 A 保証について

Axis プリントサーバは、お買い上げ頂いてから一年間、センドバックによる無償保証が付いております。ただし、製品に付属の「お客様登録カード」をお送り頂いた方のみのサポートとなります。また、有償で保証期間を一年間だけ延長することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、保証期間終了後の故障に関しては、実費負担となります。

# 付録 B 用語集

AlX Advanced Interactive eXecutive。IBM 社の様々なコンピュータ 上で動作する IBM 社の UNIX オペレーティングシステム。

ARP Address Resolution Protocol。同一ネットワークセグメント上にある他のホストの物理アドレスを調べるための TCP/IP プロトコル。UNIX、Windows 95、98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me で利用できます。ARP は、ルータを越えて使用できません。

BOOTP BOOT Protocol。ホストの IP アドレス等のスタートアップ情報を設定するための TCP/IP プロトコル。UNIX で利用可能。BOOTP を利用するには、システム上に BOOTP デーモンが必要。BOOTP デーモンに対して要求が行われると、ブートテーブル中、目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索され、エントリが見つかった場合はそのホストの IP アドレスが設定される。

BSD Berkeley Software Distribution。米国カリフォルニア大学バークレー校が配布を行ってきた UNIX オペレーティングシステム。

config ファイル

プリントサーバのメモリ内にあり、プリントサーバの機能を 決定するすべてのパラメータを保持するファイル。config ファ イルを編集する (パラメータ設定を変更する) ことにより、ネ ネットワークでの印刷用途に合わせてプリントサーバを設定 することが可能。

DHCP Dynamic Host Configuration Protocol。DHCP は Windows NT と UNIX システムで使用することができ、中央のプール領域から 一時的な IP アドレスを自動的に割り当てる。選択された DHCP サーバは、要求を行ったホストに未使用の IP アドレスを自動 的に割り当て、設定する。また、その IP アドレスの有効期間を定義する確認データを提供。

DHCP を有効に利用するため、Axis プリントサーバは Windows NT ネットワークで利用可能な WINS (Windows Internet Name Service) に対応。

- DNS Domain Name Service。ネットワーク上でホスト名と IP アドレスを対応させる機能。
  - FIP File Transfer Protocol。ネットワーク経由でファイルを転送するための TCP/IP プロトコル。
- HTML Hypertext Markup Language。WWW(World Wide Web)やその他のハイパーテキストドキュメントを作成するための標準的なハイパーテキスト言語。
- HTTP Hypertext Transfer Protocol。Web ベースの通信のための TCP/IP プロトコルです。
  - IP Internet Protocol。IP アドレスを基に、外に出て行くメッセージをルーティングし、中に入ってくるメッセージを認識することにより、パケット転送を統制するセッション層の TCP/IP プロトコル。
  - IPP Internet Printing Protocol。インターネット上のリモートプリンタに印刷を実行するためのプロトコル。IPP を利用すれば、インターネットに接続しているユーザが、インターネット上に接続されているプリンタに印刷ジョブを送ることが可能。IPP はシステムに依存しないプロトコルで、TCP/IP に対応する LAN や WAN で使用できる。
  - <u>LED</u> Light Emitting Diode。発光ダイオード。
- LPD Line Printer Daemon。ホスト間のプリントジョブを転送するためのプロトコル。UNIX システムで推奨される方法。ただし、いくつかの System V系のUNIX システムでは対応していない。
- MIB Management Information Base。ネットワーク設定を監視したり、また変更するために SNMP などが利用するネットワーク構成情報のデータベース。
- NCP NetWare Core Protocol。NetWare クライアントは NCP を利用してサーバのサービスを要求し、サーバは NCP を利用してファイルサービスや印刷サービスのようなサービスを提供する。

- NetWare Directory Services。NetWare サーバやボリュームのようなネットワークリソースを管理する。
- RARP Reverse Address Resolution Protocol。UNIX ネットワークで IP アドレスを設定する TCP/IP プロトコル。RARP を利用するには、ネットワーク上でRARP デーモンが必要となる。RARP は、同一ネットワーク上でのみ動作する。RARP デーモンに対して要求が行われると、物理アドレステーブル中に目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索され、エントリが見つかるとそのホストの IP アドレスが設定される。
- RISC Reduced Instruction Set Computing。限られた数しかアセンブリ 言語命令を持たないプロセッサ。
- SAP Service Advertising Protocol。ネットワークで利用する名前を通知するプロトコル。たとえば、ファールサーバがその存在をネットワーククライアントに対して知らせるために利用する。
- SIMP Simple Network Management Protocol。ネットワーク上のホストやデバイスを管理、監視する TCP/IP プロトコル。
  - TCP Transmission Control Protocol。TCP/IP プロトコルスタック中で 利用されるコネクション指向のトランスポートレベルプロトコル。
  - TFTP Trivial File Transport Protocol。FTP プロトコルを簡素化したもので、プリントサーバが自動的に config ファイルをダウンロードするのに使用する。
- UNIX 元々、AT&T で開発された 32 ビットマルチタスク・マルチユー ザオペレーティングシステム。
  - URL Uniform Resource Locator。インターネット上で公に利用可能な情報の場所を指定する方法。
- <u>WINS</u> Windows Internet Name Service。動的に割り当てられた IP アドレスに、NetBIOS 名をマップする NetBIOS ネームサーバ。

ウィザード 作業を自動化するためにダイアログを利用してユーザを支援 する仕組み。ウィザードは、複雑で経験を必要とする作業を 行う手助けとなり、なおかつ経験のあるユーザに対しても操作を速やかに行うことを可能にする。

### ファームウェア

ファームウェアは読み取り専用のメモリに格納されるプログラムで、コンピュータデバイスに常駐する一部となる。ファームウェアは他のソフトウェアと同様に配布され、プリントサーバのフラッシュメモリ内に、専用のユーザインターフェイスを利用してインストールすることが可能。

#### フラッシュメモリ

プリントサーバのファームウェアは、フラッシュメモリの中に格納される。フラッシュメモリは、シリコンチップで提供され、その他のROMデバイスと同様に電源が落とされた後でもデータの内容を保持する。プリントサーバ搭載のフラッシュメモリの特徴は、保存されているデータを消去し、書き直すことができるという点で、特に部品の交換などを必要としないため、新しいファームウェアがリリースされると、ネットワーク経由でプリントサーバにフラッシュローディングすることが可能。

### 論理プリンタ

論理プリンタは、ネットワークと物理プリンタ間のフィルタとして振る舞う。論理プリンタは、ユーザには付加的な性質を持った通常のプリンタとして見える。たとえば、UNIX ワークステーションは、キャリッジリターン (CR) とラインフィード (LF) を必要とする共有プリンタに対し、ラインフィード (LF) しか送信しない場合がある (UNIX の改行はラインフィードー文字であるため)。論理プリンタにより、キャリッジリターン (CR) を追加して、この問題を解決することが可能。

# 索引

数字 Numerics	P
16 進ダンプモード 67	PCONSOLE 90
Α	Power インディケータ 9, 10
Account ファイル 84,85	PROS A 59
Auto-IP 18, 93	PROS B 59
axinstall 56	R
AXIS MIB 89	Reverse Telnet 60
AXIS NetPilot 40	S
AXIS Print Monitor 23	SNMP 88
С	Status ファイル 84,87
config ファイル 69,105	T
D	Telent 85
DDNS 16	W
E	WINS 16
ETRAX 100 6	あ
F	アップグレード 99
FTP 82	U
UNIX 59	インストール 14
I	
IPP 93	<del>~</del> 管理者モード 70,72
IP アドレスの設定	2
ARP 19, 20	工場出荷時のデフォルト設定 8, 10,
BOOTP 22	104
DHCP 17 Macintosh 52	さ
RARP 21	・ 再起動ボタン 74
L	
LPD 58	せ ᇌᇢᅭᄼᆧᅟᆙᄀ
UNIX 58	設定ウィザード 72 設定ファイルの編集
N	設定ファイルの補来 FTP 82
NetWare アドミニストレータ 90	セレクタ 49
Network インディケータ 9, 10	<del>2</del>
10000 12 / 1 / 2 0, 10	で 双方向印刷 66
	المالية العالم المالية العالم المالية

て テストページ 8, 10, 42, 103 テストボタン 8, 10, 103 な 内部 Web ページ 70 ね ネットワークコネクタ 8,9 ネットワーク速度 98 ネットワークに接続 12 は ハードウェア 8 パスワード 71,105 パラメータ 105 パラメータリスト 8,10,73 印刷 103

ふ ファームウェア 6,99,124 ファクトリデフォルトボタン 74

物理アドレス 15 フラッシュメモリ 124 プリンタポート 8.9 プリントキュー 41 プリントサーバモード 42 ほ ホスト名 16 ŧ 文字列の置換 62 ゆ ユーザ ID 71 ユーザモード 70,71 IJ リセット 87 リモートプリンタモード 43 論理プリンタ 61